はじめにお読みください

brother

刺しゅうデータ作成ソフトウェア

刺しゅうPRO10

ESY10シリーズ

かんたんガイド

●ご使用になる前に必ず本書をお読みになり正しくお使いください。
●本書はなくさないように大切に保管し、いつでも手にとって見られるようにしてください。

本ソフトウェア製品をインストールする前に必ずお読みください。

この度は弊社のソフトウェア製品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。本製品をインストールする前に、下記「ソフトウェアにおける契約条項」を十分お読みください。弊社では本製品に下記契約事項を設けており、お客様のご同意のあった場合のみ本製品をご使用いただいております。本製品の使用条件は、本製品のインストールをもって、お客様にご了承いただいたものとさせていただきます。

ソフトウェアにおける契約条項

1. **総則**
   この条項は、お客様と弊社との間における、本製品の使用に関する取り決めです。
2. **本製品の使用**
   お客様は本製品を 1 台のコンピューターにインストールして使用することができます。
3. **複製**
   お客様による本製品のバックアップ目的以外の複製は禁止されております。
4. **改造等**
   お客様による本製品の改造、解析等は禁止します。
5. **譲渡**
   お客様は本製品について、第三者に再使用権を設定し、又はその他の方法で第三者に使用させることができないものとします。
6. **保証**
   お客様による本製品の選択、使用および使用結果について弊社はいかなる責任も負いません。
7. **その他**
   本製品は著作権法によって保護されています。

本製品の一部は Softfoundry International Pte. Ltd の技術を使用して作られています。

Microsoft、Windows、Windows Vista は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
IBM は米国 International Business Machine Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

はじめに

このたびは、刺しゅう PRO 10 をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

本製品はパソコンに接続しご使用いただくことにより、オリジナル刺しゅうを作成できる刺しゅうデータ作成ソフトウェアです。お使いになる前に、このかんたんガイドの「安全にお使いいただくために」をよくお読みのうえ、使いかたマニュアルをご覧ください。各機能や正しい使い方を十分にご理解のうえ末永くご愛用ください。

また、お読みになった後は保証書とともに、お使いになられる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

注意：このかんたんガイドでは、お使いのパソコンのWindows®および周辺機器の使用方法については説明していません。お使いのパソコンのWindows®および周辺機器の使用方法については、それぞれの取扱説明書を参照してください。

この装置は、住宅地域での電波障害阻止を目的とした、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づく、第2種情報処理装置です。この装置は、住宅地域またはその隣接した地域で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。マニュアルに従って正しい取り扱いをしてください。

重要： 営業目的で、別売の「刺しゅうカード」や新聞・雑誌などから無断で複製し、本製品にて使用することは「著作権法」に触れることになり、法により処罰されることがあります。本製品に含まれるソフトウェアは、「著作権法」により保護されています。著作権法に従う場合に限り、本ソフトウェアをご使用・複製いただくことができます。本製品は、一般家庭用のみのご使用を対象としています。

- 本製品は日本国内向け、家庭用です。外国では使用できません。
  This product can not be used in a foreign country as designed for Japan.
- 仕様および外観は品質改良のため、予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- 本書の内容を許可なく無断で複製することは、禁じられておりますのでご了承ください。
- 本書の内容を予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- 本書の内容について万一不審な点や誤りなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。

安全にお使いいただくために

このマニュアルに使われている表示や絵文字は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになられる方や他の人々への危害や損害を未然に防ぐためのものです。
その表示や意味は次のとおりです。

⚠ 注意	この表示を無視して誤った使い方をすると、人が障害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

本書で使用している絵文字の意味は次のとおりです。

特定しない禁止事項

分解してはいけません

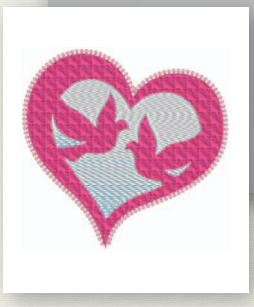
この製品を安全にお使いいただくために、以下の事柄を守ってください。

⚠ 注 意	
	転送または保存目的で「刺しゅうPROソフトウェアキー」本体にファイルを保存しないでください。故障の原因となります。
	「刺しゅうPROソフトウェアキー」本体を刺しゅうミシンに挿入しないでください。故障の原因となります。
	「刺しゅう PRO ソフトウェアキー」本体は、ストーブ、アイロンのそばなど高温・多湿のところでは使用しないでください。故障の原因となります。
	「刺しゅうPROソフトウェアキー」本体を、お客様ご自身で分解、修理および改造は行わないでください。けが・故障の原因となります。
	「刺しゅう PRO ソフトウェアキー」本体を、乳幼児の手の届くところに置かないでください。誤って飲み込み、窒息する恐れがあります。万一、飲み込んだと思われる場合は、直ちに医師に相談してください。

National University
N.U.H.S
since 1914

National University
N.U.H.S
since 1914

Bridal
Shower



▶▶ 40 ページ

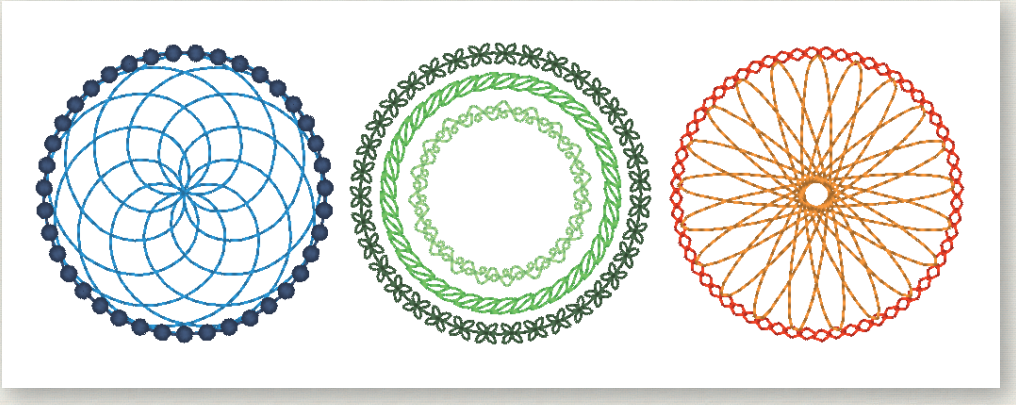
▶▶ 29 ページ

▶▶ 34 ページ

▶▶ 60 ページ

▶▶ 55 ページ

▶▶ 50 ページ



▶▶ 42 ページ

目次

説明書の種類と内容 3

かんたんガイド 3
使いかたマニュアル（PDF 形式）..... 3

始めてみよう 4

はじめに 4
同梱品の確認 4
「刺しゅう PRO ソフトウェアキー」使用時の注意事項 4
ソフトウェアのインストール 5
インストールを行う前に 5
動作環境の確認 5
インストールの手順 6
ステップ 1：ソフトウェアをインストールする 6
ステップ 2：「刺しゅう PRO ソフトウェアキー」の認証を行う（刺しゅう PRO Ver.5 以降からアップグレードする場合のみ）..... 9
ソフトウェアをアンインストールする 13
サポート・サービス 15
ユーザーサポート 15
最新のプログラムにアップデートする 16

好みの刺しゅう模様を作ってみよう 17

上手な刺しゅうデザイン作りのポイント 17

アイデアを刺しゅうにしてみよう 19

アプリケーションを起動する 19
レイアウトセンターを起動しましょう 19
スタートアップウィザードを使う 20
枠サイズを前もって設定しましょう 20
レイアウトセンターの画面について 21
［取り込み］ウィンドウを表示しましょう ... 21
模様を取り込む 22
図形データを取り込みましょう 22
模様を配置する 23
図形データを配置しましょう 23
模様に色をつける 24
色を変えましょう 24
模様のぬい方を選ぶ 25
ぬい方を変えましょう 25
模様を刺しゅうデータとして見る 26
ぬい順を変えましょう 26
模様をぬう 27
USB メモリーを使ってデータをミシンに転送しましょう 27
刺しゅうデータを保存 / 開く / 印刷しましょう ... 28
アプリケーションを終了する 28
レイアウトセンターを終了しましょう 28

いろいろな刺しゅうデザインを作ってみよう 29

フラワーリース – ステッチデータを配置する –... 29
模様を取り込んで回転する 30
模様を複製する 31
模様を反転する 32
模様を配置する 33
背番号 – 文字を組み合わせる –..... 34
文字を入力する 35
文字の色とぬい方を変える 36
変形した文字を取り込む 38
配置を整える 39
エンブレム – テンプレートウィザードを使う –... 40
ウィザードを起動する 40
文字を編集する 41
デザインデータを出力する 41
花模様 – 図形から花模様を作る –..... 42
円を描く 42
花模様を描く（簡易モード）..... 44
花模様を描く（詳細モード）..... 46
オフセットラインを使って描く 47
ハート模様 – 図形の輪郭ごとにぬい目を変える –... 50
図形データを取り込む 50
ぬいのパターンを図形に適用する 51
プログラムタタミぬいを図形に適用する... 52
モチーフぬいを図形に適用する 54
ハトとハート
– ベクトル画像にグラデーションを付ける –... 55
ベクトル画像（SVG ファイル）を取り込む... 55
非表示のデータを表示する 56
外側のハートの図形を飾る 57
グラデーションを付ける 58
シンボル – 分割した図形にぬい方向を指定する –... 60
模様を分割する 60
ぬい方向を設定する 63
ぬい順を最適化する 67
模様のパーツをグループ化する 67

かんたんガイド活用法

ソフトウェアのインストール手順

この初期手順に従って、ソフトウェアをインストールしましょう。

- 初めて刺しゅう **PRO** を使う方 (通常版)
- 刺しゅう **PRO Ver.5**、**6**、**7**、**8**、または **NEXT** を使っている方 (アップグレード版)

→ 始めてみよう

アプリケーションの基本操作を学びたい

- 刺しゅう **PRO** 初心者の方
- 基本操作を確認したい方

→ 好みの刺しゅう模様を作ってみよう

→ アイデアを刺しゅうにしてみよう

さっそく刺しゅう模様を作り始めたい

- 刺しゅう **PRO** の中級者／上級者の方
- 応用操作や詳細な手順が知りたい方

→ いろいろな刺しゅうデザインを作ってみよう

説明書の種類と内容

かんたんガイド

ソフトウェアをお使いになる前に本ガイドをお読みください。本ガイドでは前半に、本ソフトウェアの使用に関する注意事項やヒントを含め、ソフトウェアのインストール手順または旧バージョンからのアップグレード手順について説明します。後半は、主な機能を使用して刺しゅうデータを作成する基本の操作方法と応用例です。

- ソフトウェアのインストール
  1. 同梱品の確認やインストールの準備に関する説明をお読みください。（▶ 4 ページ）
  2. 手順に従ってソフトウェアをインストールしましょう。（▶ 5 ページ）
  3. ソフトウェアのサポート情報について知っておきましょう。（▶ 15 ページ）
- 基本操作
  1. 刺しゅう模様を作るためのキーポイントを知っておきましょう。（▶ 17 ページ）
  2. 基本的な画面操作や機能を覚えましょう。（▶ 19 ページ）
  3. サンプル作品を作ってみましょう。（▶ 29 ページ）
- 本ガイドで使われている記号

  : ソフトウェアの操作時に注意していただきたい事柄を記載しています。正しく操作していただくために必要な情報ですので、このマークがある場合は必ずお読みください。

  : 知っておくと便利な操作のヒントを記載しています。この情報を覚えておくと、刺しゅう模様作りをよりスムーズに楽しく行うことができます。

使いかたマニュアル（PDF 形式）

初心者から上級者まであらゆる習熟度に合わせた刺しゅう PRO の機能と操作に加え、各種設定について説明します。使いかたマニュアルは PDF ファイルで利用可能です。

■［スタート］画面から閲覧する（Windows® 8.1 の場合）

［スタート］画面にマウスカーソルを置くと画面左下に表示される、下向きの矢印（タイルの左下）をクリックします。

画面に表示されるアプリケーションリストから、タイトル**［刺しゅう PRO 10］**の下にある**［使いかたマニュアル］**をクリックします。

- Windows® 8 の場合：タイルがない部分で**［スタート］**画面を右クリックし、画面右下の**［すべてのアプリ］**をクリックして、アプリケーションリストを表示します。
- Windows® 7 の場合：をクリックし、**［すべてのプログラム］**をクリックします。**［刺しゅう PRO 10］**をクリックし、**［使いかたマニュアル］**を選択します。

■ アプリケーションから閲覧する

［デザインデータベース］以外のアプリケーションの右上にある をクリックし、メニューから**［マニュアル］**をクリックします。**［デザインデータベース］**で、ウィンドウ上部の**［ヘルプ］**をクリックし、メニューから**［マニュアル］**をクリックします。

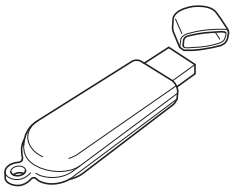
PDF 版の使いかたマニュアルの閲覧および印刷には、Adobe® Reader® が必要です。

始めてみよう

はじめに

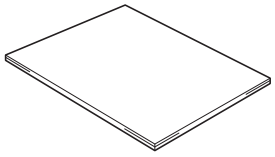
同梱品の確認

次の同梱品がそろっていることを確認してください。同梱品が足りないときや破損しているときは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。



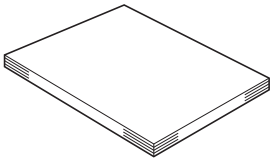
刺しゅう PRO ソフトウェアキー

（プログラム、使いかたマニュアル（PDF 形式）など）



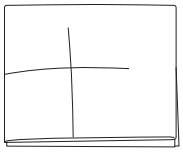
かんたんガイド

（本書）

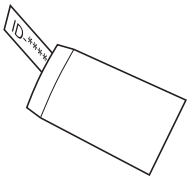


使いかたマニュアル

ストラップ

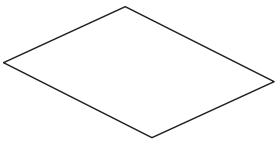


位置合わせシート



プロダクト ID キーの封筒

アップグレード版のみに同梱（付属）
プロダクト ID は紙に印刷されています。



保証書

「刺しゅう PRO ソフトウェアキー」使用時の注意事項

- 本ソフトウェアを動かすには、「刺しゅう PRO ソフトウェアキー」を挿入する必要があります。
- 「刺しゅう PRO ソフトウェアキー」は、USB メモリーとして使用できません。転送または保存目的で「刺しゅう PRO ソフトウェアキー」に刺しゅうファイルを保存しないでください。
- ミシンに「刺しゅう PRO ソフトウェアキー」を挿入しないでください。
- 「刺しゅう PRO ソフトウェアキー」を初期化しないでください。
- 「刺しゅう PRO ソフトウェアキー」を、湿度の高い場所、直射日光の当たる場所、静電気や衝撃が加わる場所で、保管しないでください。また、「刺しゅう PRO ソフトウェアキー」を曲げないでください。
- 「刺しゅう PRO ソフトウェアキー」を紛失・破損した場合は、ソフトウェアの小売価格と同額での交換となります。使用しないときは、安全な場所に保管してください。

- インストールする前に、「刺しゅう PRO ソフトウェアキー」に保存されたインストーラーをバックアップしてください。
- インストールしたアプリケーションが正しく動作していない場合は、アンインストールしてから、もう一度インストールしてください。

ソフトウェアのインストール

インストールを行う前に

- ソフトウェアのインストールを行う前に、ご使用になられるパソコンが動作環境を満たしているかどうかご確認ください。
- ソフトウェアのインストール時は、お使いのパソコンの管理者アカウント（Administrators）でログオンしてください。管理者アカウント（Administrators）でのログオンについて詳しくは、Windows® の取扱説明書を参照してください。
- 本インストールの手順は、Windows® 8.1 を基準に記載されています。Windows® 8.1 以外のシステムをご使用の場合は、手順や表示画面が多少異なります。
- インストールの途中でキャンセルを行ったり、手順と違う操作を行うとインストールが正しくできません。
- LED インジケータが点滅している間は、パソコンの USB ポートから「刺しゅう PRO ソフトウェアキー」を抜かないでください。
- ソフトウェアのインストール中は、パソコンの USB ポートから「刺しゅう PRO ソフトウェアキー」を抜かないでください。インストールが完全に終了してから、「刺しゅう PRO ソフトウェアキー」を抜いてください。
- 「刺しゅう PRO ソフトウェアキー」の認証を行うには、インターネットに接続する必要があります。インターネットに接続できない場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
- 「刺しゅう PRO ソフトウェアキー」の認証手順については、「ステップ 2：「刺しゅう PRO ソフトウェアキー」の認証を行う（刺しゅう PRO Ver.5 以降からアップグレードする場合のみ）」を参照してください。（▶ 9 ページ）

動作環境の確認

ソフトウェアのインストールを行う前に、ご使用になられるパソコンが以下の動作環境を満たしているかどうかご確認ください。

パソコン	IBM-PC またはその互換機
OS	日本語 Microsoft Windows Vista® ／ Windows® 7 ／ 8 ／ 8.1 ／ 10 （32 または 64 ビット）
CPU 速度	1 GHz 以上推奨
メモリー	512 MB 以上（1GB 以上推奨）
ハードディスクの空き容量	300 MB 以上
ディスプレイ	XGA（1024 × 768）の解像度で、High Color（16 ビット）表示以上が必要 （True Color 推奨）
USB ポート	2 つ以上（「刺しゅう PRO ソフトウェアキー」の接続とミシンへの刺しゅうデータ転送に使用）
デバイス	マウス
プリンター	ご使用のシステムでサポートされているプリンター （画像を印刷したい場合）
インターネット接続	刺しゅう PRO の認証とアップグレードするために必要

- 自作のパソコンでは、正しく動作しないことがあります。

インストールの手順

インストールの手順は、お使いのソフトウェアによって異なります。刺しゅう PRO 10 を初めてご利用になる場合は、通常版をインストールします。刺しゅう PRO Ver.5、6、7、8、または NEXT からアップグレードする場合は、ソフトウェアをインストールし、「刺しゅう PRO ソフトウェアキー」の認証を行います。次の手順でソフトウェアのインストールを行ってください。

通常版の場合

▶▶ 6 ページの「ステップ 1：ソフトウェアをインストールする」

アップグレード版（刺しゅう PRO Ver.5 以降からのアップグレード）の場合

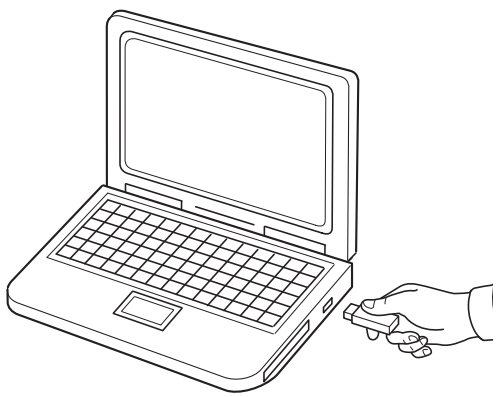
▶▶ 6 ページの「ステップ 1：ソフトウェアをインストールする」

▶▶ 9 ページの「ステップ 2：「刺しゅう PRO ソフトウェアキー」の認証を行う（刺しゅう PRO Ver.5 以降からアップグレードする場合のみ）」

ステップ 1：ソフトウェアをインストールする

この章ではアプリケーションソフトウェアのインストールを説明します。

- インストールの途中でキャンセルを行ったり、手順と違う操作を行うとインストールが正しくできません。
- ソフトウェアのインストール時は、お使いのパソコンの管理者アカウントでログオンしてください。管理者アカウントでログオンしていないときは、途中で管理者アカウントのパスワードが要求される場合があります。パスワードを入力して手順を進めます。
- インストールを開始する前に、以下の手順に従ってパソコンにインストーラーをバックアップしてください。
  1. コンピューターにバックアップフォルダーを作成します。
  2. 「刺しゅう PRO ソフトウェアキー」の **［刺しゅう PRO 10］** フォルダー全体を手順 1 で作成したフォルダーにコピーします。
- 「刺しゅう PRO ソフトウェアキー」の **［刺しゅう PRO 10］** フォルダーにあるデータは削除しないでください。



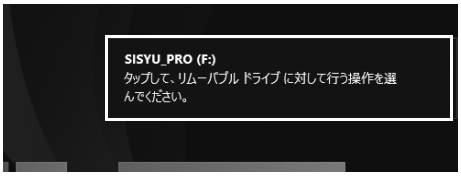
1 **「刺しゅう PRO ソフトウェアキー」をパソコンの USB ポートに差し込みます。**

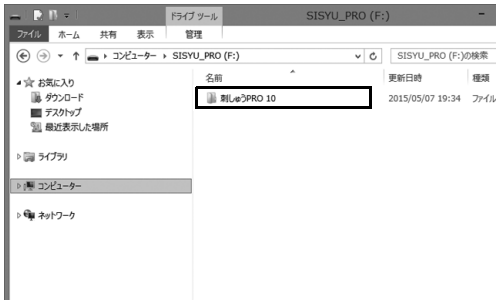
→ しばらくすると、**［自動再生］** ダイアログが起動します。

→ Windows® 7 の場合、**［自動再生］** ダイアログが表示されたら手順 **3** を行います。

インストールが完了するまでは「刺しゅう PRO ソフトウェアキー」を抜き差ししないでください。

- **［自動再生］**ダイアログが起動しない場合：
  1. カーソルを画面左下に移動します。
     → が表示されます。
  2. を右クリックし、コマンドリストで**［実行］**を選択します。
     →**［実行］**ダイアログボックスが表示されます。
  3. インストーラーのフルパスを入力し、**［OK］**をクリックするとインストールが始まります。
     例：F:￥刺しゅう PRO 10￥setup.exe（「F:」は「刺しゅう PRO ソフトウェアキー」に使用されるドライブ名です）
- Windows® 7 の場合、をクリックした後、**［すべてのプログラム］**をクリックします。**［アクセサリ］**を選択し、**［ファイル名を指定して実行］**をクリックして、**［ファイル名を指定して実行］**ダイアログボックスを表示します。入力ウィンドウにインストーラーのフルパスを入力します。





2 **画面右上に表示されたメッセージをクリックします。**
→**［自動再生］**ダイアログボックスは表示されたままです。

3 **［フォルダーを開いてファイルを表示］をクリックします。**
→**［エクスプローラー］**ウィンドウが表示されます。

4 **［刺しゅう PRO 10］フォルダーを開き、setup.exe ファイルをダブルクリックします。**
→**［ユーザーアカウント制御］**ダイアログボックスが表示されます。

5 **［はい］をクリックします。**
→ しばらくすると、次のダイアログボックスが表示されます。

6 **［次へ］をクリックして、インストールを続行します。**

→ インストール先のフォルダーが表示されます。

7 **インストール先のフォルダーを確認してから［インストール］をクリックしてプログラムをインストールします。**

→ インストールが完了すると、次のダイアログボックスが表示されます。

他のフォルダーにインストールしたいとき：

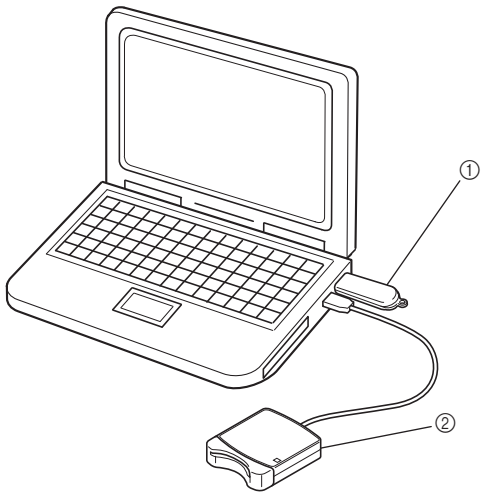
1. **［変更］**をクリックします。
2. **［フォルダーの参照］**ダイアログボックスが表示されたら、ドライブとフォルダーを選択します。（必要な場合はフォルダ名を入力します。）
3. **［OK］**をクリックします。
   → **［インストールウィザード］**の**［データベースフォルダー］**ダイアログボックスに、選択したフォルダーが表示されます。
4. **［インストール］**をクリックすると、選択したフォルダーにインストールされます。

8 **［完了］をクリックして、インストールウィザードを終了します。**

パソコンの再起動を促すメッセージが表示された場合は、パソコンを再起動してください。

ステップ 2：「刺しゅう PRO ソフトウェアキー」の認証を行う（刺しゅう PRO Ver.5 以降からアップグレードする場合のみ）

お使いの刺しゅう PRO を刺しゅう PRO 10 へアップグレードする場合は、「刺しゅう PRO ソフトウェアキー」の認証も必要です。ソフトウェアのインストール後、次の手順に従って「刺しゅう PRO ソフトウェアキー」とカードライターをパソコンに差し込み、「刺しゅう PRO ソフトウェアキー」の認証を行ってください。



① 刺しゅう PRO ソフトウェアキー
② カードライター

- 「刺しゅう PRO ソフトウェアキー」の認証を行うには、インターネットに接続する必要があります。インターネットに接続できない場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
- ファイアウォール機能を使用しているときは、認証が失敗する場合があります。その場合は、一時的にファイアウォール機能を停止し、認証を完了します。
- 1 つの「刺しゅう PRO ソフトウェアキー」の認証に対して使用できるプロダクト ID とカードライターはそれぞれ 1 つずつです。使用済みのプロダクト ID とカードライターは、他の「刺しゅう PRO ソフトウェアキー」に使用できません。
- ソフトウェアキーの認証終了後は、起動時にカードライターの接続は不要です。

刺しゅう PRO を初めてご利用になる場合（通常版のソフトウェアをインストールした場合）、認証手順は不要です。

1 **「刺しゅう PRO ソフトウェアキー」をパソコンに差し込みます。**
→ **［自動再生］**ダイアログボックスが表示されます。**［自動再生］**ダイアログボックスは使用しないため、ダイアログで **［何もしない］**を選択します。

2 **［スタート］画面にマウスカーソルを置くと画面左下に表示される、下向きの矢印をクリックします。**
→ アプリケーションのリストが表示されます。

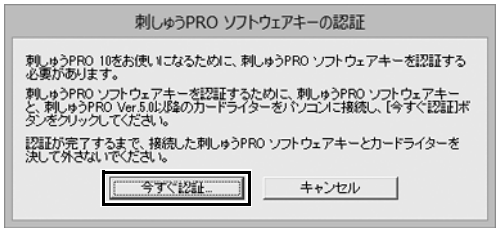
3 **タイトル［刺しゅう PRO 10］の下に表示される［刺しゅう PRO 10（レイアウトセンター）］を右クリックします。**
→ タスクバーが画面下部に表示されます。

4 **タスクバーの［管理者として実行］をクリックして、管理者としてプログラムを実行します。**
→ **［ユーザーアカウント制御］**ダイアログボックスが表示されます。

Windows® 7 の場合、をクリックした後、**［すべてのプログラム］**をクリックします。**［刺しゅう PRO 10］**をクリックし、**［刺しゅう PRO 10（レイアウトセンター）］**を右クリックします。コマンドリストで**［管理者として実行］**を選択します。

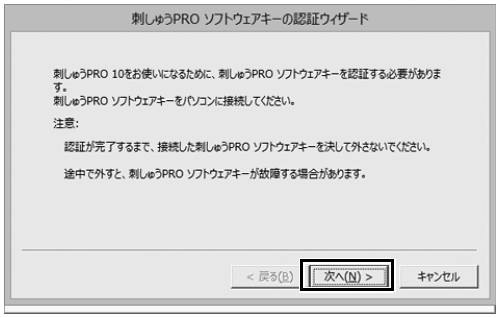
5 **[はい] をクリックします。**

→ しばらくすると、次のダイアログボックスが表示されます。



6 **[今すぐ認証] をクリックして、認証を開始します。**

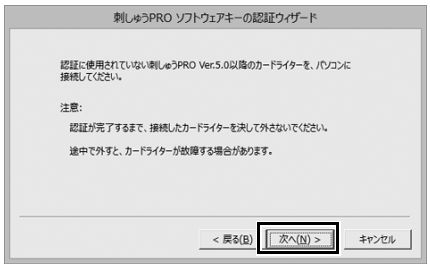
→ 認証ウィザードが起動し、次のダイアログボックスが表示されます。



7 **[次へ] をクリックします。**

8 **15 桁のプロダクト ID を入力し、[次へ] をクリックします。**

- 間違ったプロダクト ID を入力すると、「**プロダクト ID が正しくありません。タイプミスがないか確認して下さい。**」とメッセージが表示されます。
- アルファベットの「I（アイ）」、「O（オー）」はプロダクト ID には使われていません。
- 1 つのプロダクト ID は、1 つの「刺しゅう PRO ソフトウェアキー」にのみ使用できます。他の「刺しゅう PRO ソフトウェアキー」で使用済みのプロダクト ID は再利用できません。



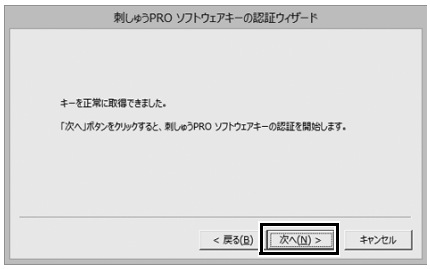
9 **刺しゅう PRO Ver.5、6、7、8、または NEXT に対応したカードライターをパソコンに接続し、［次へ］をクリックします。**

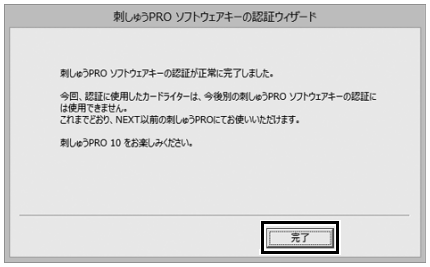
→ 認証キーを取得する前に、入力したプロダクト ID が確認のため表示されます。

10 **［次へ］をクリックします。インターネット経由で弊社のサーバーにアクセスし認証キーを取得します。**

→ 認証キーが正常に取得されると、次のダイアログボックスが表示されます。

ファイアウォール機能を使用しているときは、認証キーの取得中のみ、インターネット接続が可能になるように一時的に設定を変更してください。





11 **［次へ］をクリックし、「刺しゅう PRO ソフトウェアキー」の認証を開始します。**

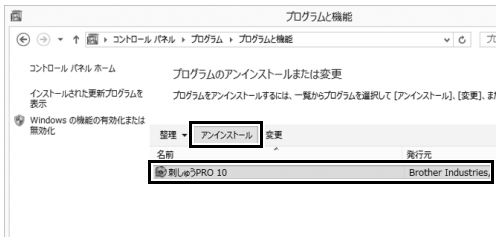
→ 認証が正常に完了すると、次のダイアログボックスが表示されます。

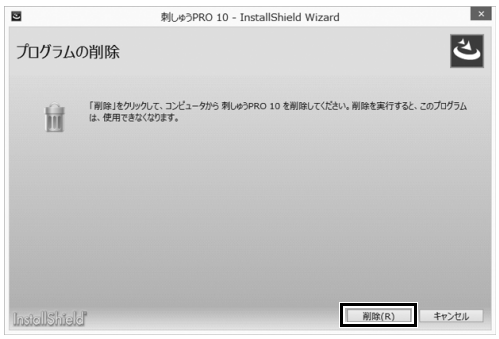
12 **［完了］をクリックして、認証を終了します。**

→ ソフトウェアキーの認証終了後は、起動時にカードライターの接続は不要です。

警告が表示された場合は、表示された手順に従って操作してください。

ソフトウェアをアンインストールする





1 **［スタート］画面にマウスカーソルを置くと画面左下に表示される、下向きの矢印をクリックします。**

→ アプリケーションのリストが表示されます。

2 **タイトル［刺しゅう PRO 10］の下に表示される［刺しゅう PRO 10（レイアウトセンター）］を右クリックします。**

→ タスクバーが画面下部に表示されます。

3 **タスクバーの［アンインストール］をクリックして、管理者としてプログラムを実行します。**

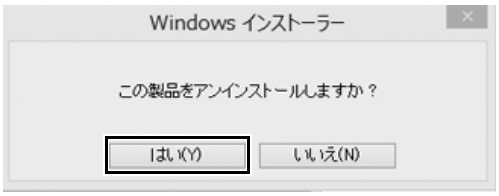
→ **［プログラムと機能］**ウィンドウが表示されます。

4 **［プログラムと機能］ウィンドウで、［刺しゅう PRO 10］を選択し、［アンインストール］をクリックします。**

→ ダイアログボックスが表示されます。

5 **［削除］をクリックして、プログラムをアンインストールします。**

→ アンインストールが始まるとすぐに次のメッセージが表示されます。



6 **［はい］をクリックします。**

→ ソフトウェアが正しくアンインストールされると、ダイアログボックスが表示されます。

7 **［完了］をクリックして、アンインストールを終了します。**

- 本アンインストール手順は、Windows® 8.1 を基準に記載されています。
- Windows Vista® と Windows® 7 の場合、**［スタート］**ボタンをクリックした後、**［コントロールパネル］**をクリックします。**［コントロールパネル］**ウィンドウで**［プログラムと機能］**を選択します。このソフトウェアを選択し、**［アンインストール］**をクリックします。

サポート・サービス

ユーザーサポート

本製品の使い方やアフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または「お客様相談室（ミシン 119 番）」までお問い合わせください。詳しくは、本書の裏表紙をご覧ください。

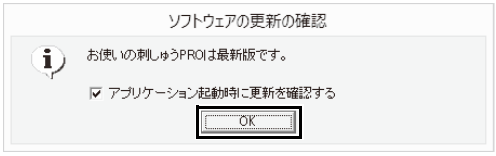
本製品のサポート情報については、レイアウトセンターの の **【刺しゅう PRO WEB ページ】** をクリックして、刺しゅう PRO 10 のホームページをご覧ください。メニューから刺しゅう PRO WEB ページを開けない場合は、下記アドレスの弊社 Web サイトをご覧ください。

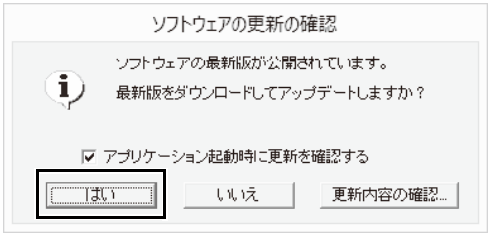
ブラザーソリューションセンター（http://support.brother.co.jp/）

お問い合わせいただく前に次の点をご確認ください。より早く回答を見つけることができます。

1. パソコンの OS を最新の状態にアップデートしてください。
2. ご使用のパソコンの製造番号、モデル番号と、お使いの OS のバージョンをご確認ください。
3. 表示されたエラーメッセージなどの内容をご確認ください。

最新のプログラムにアップデートする





1 **［レイアウトセンター］の の［ソフトウェアの更新を確認］をクリックします。**

→ 最新のプログラムになっているか自動的にチェックし、アップデートします。

2 **左記のメッセージが表示された場合は、［OK］をクリックします。**

プログラムは最新になっています。

3 **左記のメッセージが表示された場合は、［はい］をクリックして、Web から最新のプログラムをダウンロードします。**

- インターネットに接続していないパソコンではこの機能は使えません。
- ファイアウォール機能を使用しているときは、プログラムのバージョン確認ができない場合があります。その場合は、一時的にファイアウォール機能を停止してください。
- 最新のプログラムにアップデートする場合は、Administrator の権限のついたユーザーアカウントでログオンしてください。Administrator の権限のついたユーザーアカウントでのログオンについて詳しくは、Windows® の取扱説明書を参照してください。

［アプリケーション起動時に更新を確認する］をチェックすると、プログラムの起動時に毎回最新のプログラムになっているかチェックします。

［更新内容の確認］をクリックすると、変更内容が表示されます。

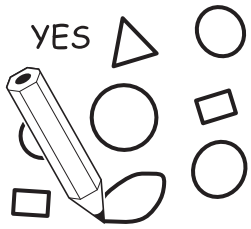
好みの刺しゅう模様を作ってみよう

上手な刺しゅうデザイン作りのポイント

上手に刺しゅう作品を仕上げるためには、下記のキーポイントとなる作業を楽しみながら行うことが大切です。刺しゅう PRO は、その作業がスムーズに行えるようにサポートするツールや機能が充実しています。刺しゅう作品を作る際に思いつく、さまざまな「したい！」を可能にします。

完成したデザインのイメージを思い描く

- いろいろなサンプル模様を見たい。 → 22 ページ
- お手本となる作品例が欲しい。 → 29 ページ
- 手持ちの写真を刺しゅうしたい。 → 55 ページ

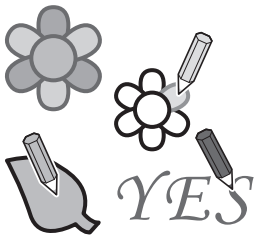


かたちを描く

- 文字を入れたい。 → 34 ページ
- デザインのテンプレートが欲しい。 → 40 ページ
- 写真やイラストを使いたい。 → 55 ページ

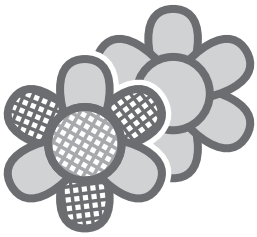
模様を並べる

- 移動したい。 → 23 ページ
- 拡大／縮小したい。 → 23 ページ
- 回転したい。 → 23 ページ
- 配置をアレンジしたい。 → 29 ページ



色をつける

- 配色のシミュレーションをしたい。 → 24 ページ
- 好みの色に変えたい。 → 36 ページ



ぬい方で魅せる

- ぬい方を変えたい。 → 25 ページ
- 模様をより表現豊かにしたい。 → 42ページ → 50 ページ

アイデアを刺しゅうデータにする

- データの利用方法を知りたい。 → 26 ページ
- 仕上がりのイメージを見たい。 → 26 ページ
- ぬい順を決めたい。 → 26ページ → 67 ページ

刺しゅうする

- ミシンでぬいたい。 → 27 ページ
- 作った刺しゅうデータを管理したい。 → 27 ページ
- お気に入りのデザインを保存しておきたい。 → 28 ページ

アイデアを刺しゅうにしてみよう

刺しゅうデザイン作りのキーポイントを考慮しながら、刺しゅう作品を仕上げるまでの基本的な流れを確認しましょう。

アプリケーションを起動する

刺しゅう PRO は、刺しゅうデザインに役立つ 5 つのアプリケーションを搭載しています。まずは、素材となる模様や図形、画像、テキストの取り込みから、作成・編集した刺しゅうデータの確認まで、刺しゅう作品作りにおいてすべての「鍵」となる工程をサポートする**［レイアウトセンター］**を起動しましょう。

レイアウトセンター：
刺しゅう作品作りに必要なすべての機能を備えています。

デザインセンター：
画像をもとにして刺しゅうデータを作成します。

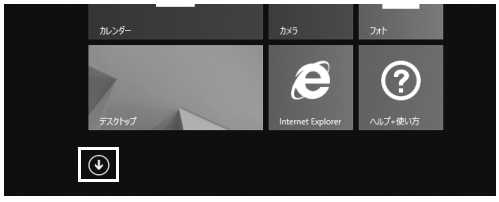
デザインデータベース：
作成・編集した刺しゅうデータを管理します。

ステッチクリエイター：
いろいろなステッチパターンを作成できます。

フォントクリエイター：
オリジナルのフォントを作成します。

練習してみましょう ①

レイアウトセンターを起動しましょう

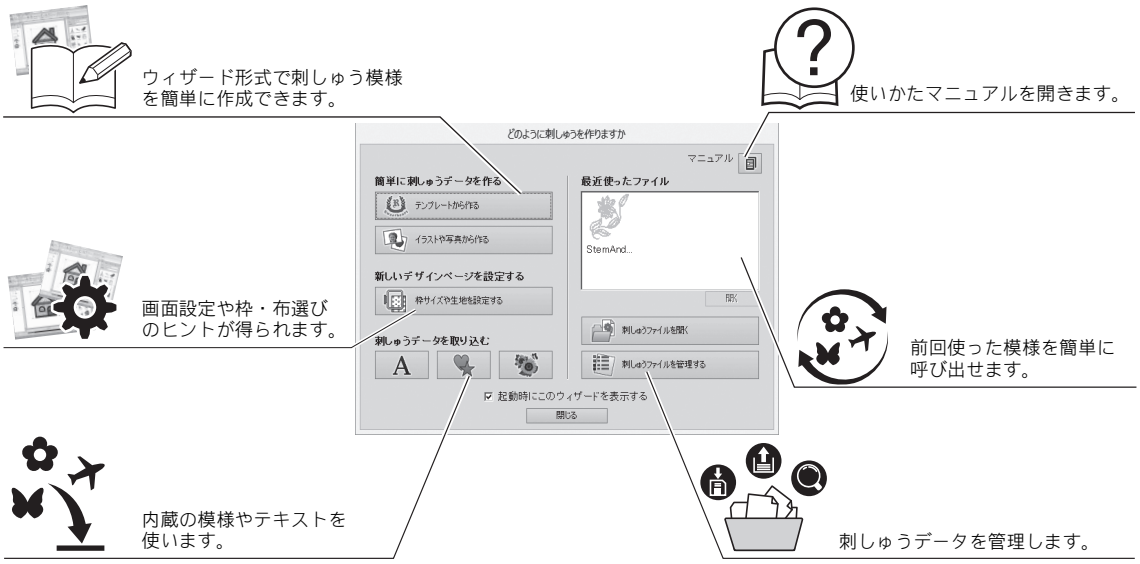


1. **「刺しゅう PRO ソフトウェアキー」をパソコンに差し込みます。**
   表示される**［自動再生］**ダイアログボックスを閉じます。
2. **［スタート］画面左下の下向きの矢印をクリックします。**
   → すべてのアプリケーションのリストが表示されます。
3. **タイトル［刺しゅう PRO 10］の下に表示される［刺しゅう PRO 10（レイアウトセンター)］をクリックします。**
   →**［レイアウトセンター］**が起動し、スタートアップウィザードが表示されます。

Windows® 7 の場合、→ **［すべてのプログラム］**→ **［刺しゅう PRO 10］**→ **［刺しゅう PRO 10（レイアウトセンター)］**をクリックします。

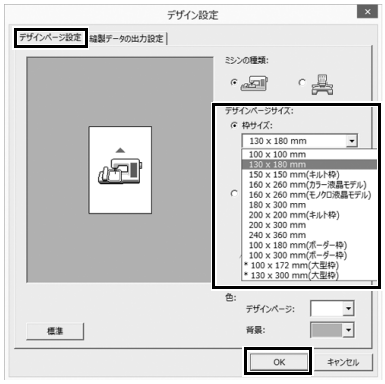
スタートアップウィザードを使う

スタートアップウィザードでは1回のクリックだけで、よく使う機能やファイルへ簡単にアクセスできます。



練習してみましょう ②

枠サイズを前もって設定しましょう



1 **スタートアップウィザードウィンドウで［枠サイズや生地を設定する］をクリックします。**

→ **［デザイン設定］**ダイアログが表示されます。

2 **［デザインページ設定］タブをクリックし、画面設定を指定します。**

この例では、**［デザインページサイズ］**の**［枠サイズ］**を「130 × 180mm」に設定し、**［OK］**をクリックします。

→ **［生地の設定］**ダイアログボックスが表示されます。

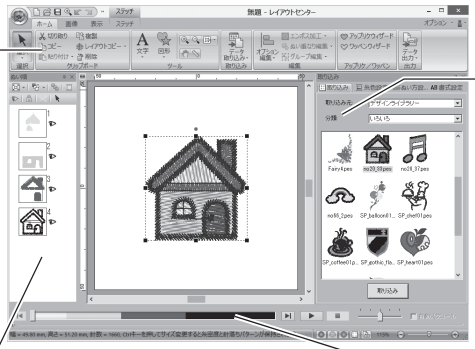
3 **［OK］をクリックします。**

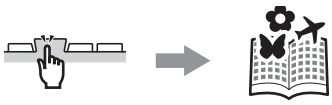
レイアウトセンターの画面について

スタートアップウィザードの後には、メインとなるレイアウトセンターの画面が表示されます。この画面では、刺しゅう作品を仕上げるまでに必要なすべての機能やツールを利用できます。

メニューとツール

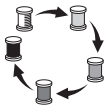
リボンで機能ごとにグループ化された任意のコマンドまたはツールを選択しましょう。





属性設定と模様の取り込み

色やぬい方、文字入力の詳細な設定をしたり、インポートする模様をサムネイルリストで見ることができます。



ぬい順の確認

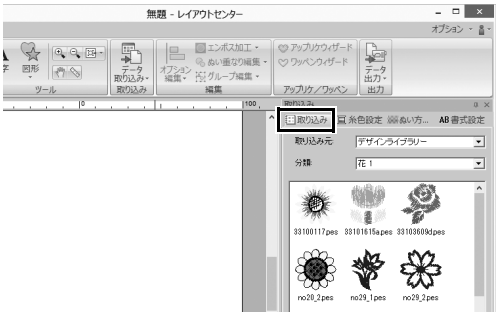
模様の縫製パーツごとの実際にぬう順番を確認しましょう。

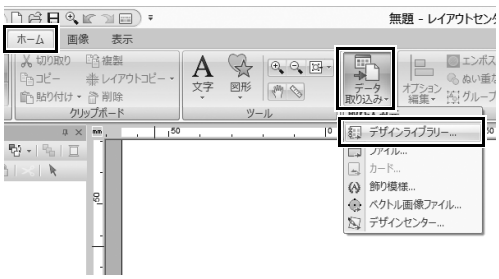
刺しゅうデータの確認

作成・編集した模様の縫製工程をシミュレーションで確認しましょう。

練習してみましょう ③

［取り込み］ウィンドウを表示しましょう





1 **ウィンドウの右側にある［取り込み］タブをクリックします。**

→ 取り込める模様のサムネイルリストが表示されます。

2 **または、ウィンドウ左上の［ホーム］タブをクリックします。［取り込み］グループの［データ取り込み］をクリックし、メニューの［デザインライブラリー］をクリックします。**

模様を取り込む

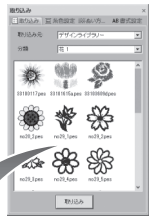
刺しゅう模様を作るには、まず、デザインのさまざまな素材を編集用画面に取り込むことから始めます。模様や図形、文字を簡単に取り込めたり、**[画像]** タブの「ステッチウィザード」機能とツールを使って、お気に入りの写真を刺しゅうデータに変換できます。

指示に従って

フォトステッチウィザードを使う

[画像] タブにあるステッチウィザードを使えば、簡単に写真を刺しゅうデータに変換できます。

ドラッグして



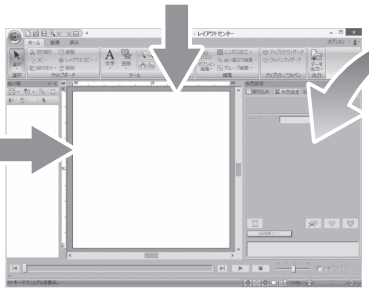
取り込み
ウィンドウから

図形やテキスト、模様テンプレートなどを、ウィンドウからドラッグするだけで簡単に利用できます。

自由に描いて

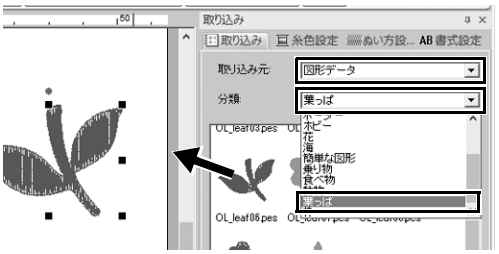
文字と図形ツール
を使う

入力用のツールを使えば、図形や線をより直観的に描くことができるので、デザインの幅が広がります。



練習してみましょう ④

図形データを取り込みましょう



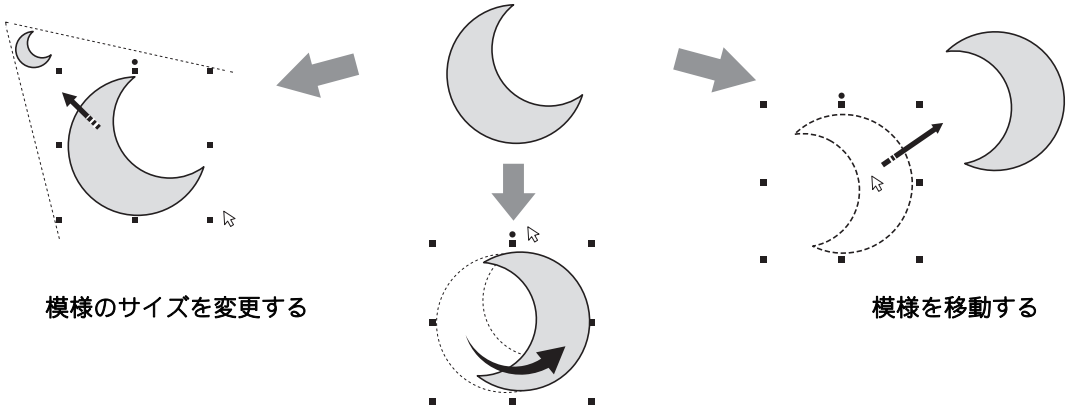
1 **[取り込み]** ウィンドウの **[取り込み元]** セレクターから **[図形データ]** を選択します。

2 **[葉っぱ]** カテゴリーから **[OL_leaf06.pes]** を選択し、模様を **[デザインページ]** にドラッグします。

3 **[花]** カテゴリーから **[OL_flower01.pes]** を選択し、模様を **[デザインページ]** にドラッグして最初の模様にわずかに重なるようにします。

模様を配置する

模様の取り込み後は、自由に移動して自分流の配置を考えてみましょう。ただ並び替えるだけではなく、模様の拡大／縮小や回転もドラッグするだけで簡単にできます。そのほかにもさまざまなレイアウト機能を備えています。より高度な機能に挑戦して自分流のアレンジを楽しみましょう。



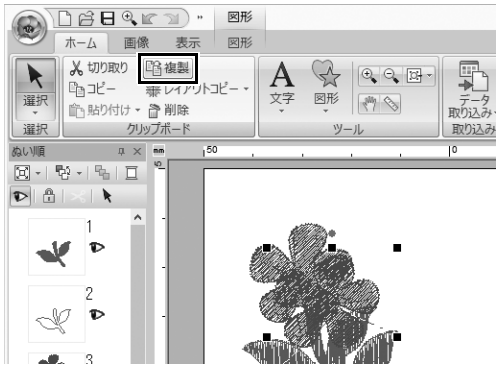
模様のサイズを変更する

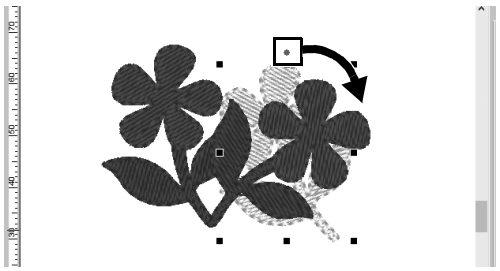
模様を回転する

模様を移動する

練習してみましょう ⑤

図形データを配置しましょう





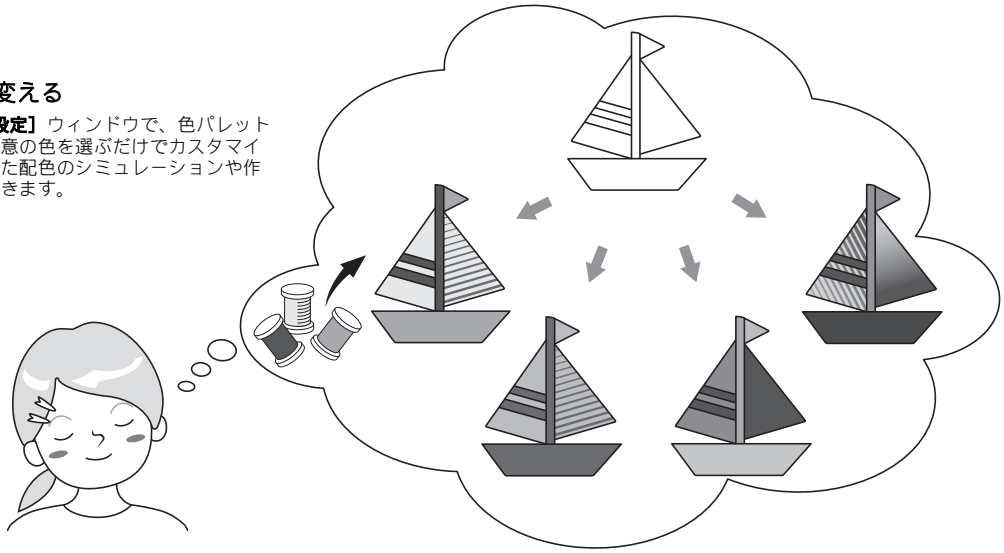
1. **選択する 2 つの模様の周りを囲うようにして、カーソルをドラッグします。**
2. **［クリップボード］グループの［複製］をクリックします。**
   → 元の模様の右下に複製が重ねて表示されます。
3. **複製の模様を選択し、任意の位置にドラッグします。**
4. **模様の上部の赤い点を右にドラッグします。**
   → 複製の模様が時計回りに回転します。

模様に色をつける

模様を構成するパーツごとに好みの色に変えてみましょう。刺しゅうデザインをよりきれいに仕上げるためには、模様の配色を考えなければなりません。

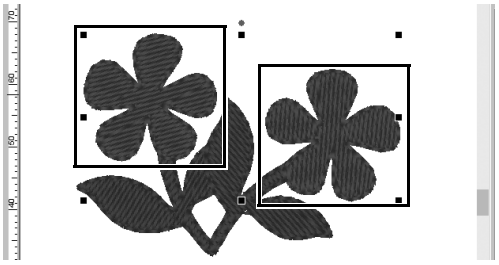
色を変える

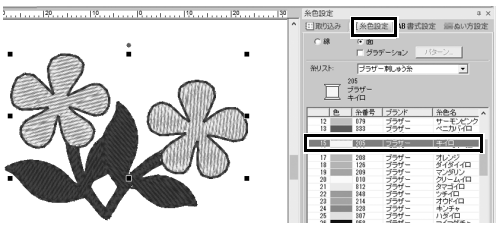
［糸色設定］ウィンドウで、色パレットから任意の色を選ぶだけでカスタマイズされた配色のシミュレーションや作成ができます。



練習してみましょう ⑥

色を変えましょう





1 **［ホーム］タブをクリックし、 を選択します。**

2 **＜Ctrl＞キーを押しながら2つの花模様をそれぞれクリックします。**

3 **［糸色設定］タブをクリックし、ウィンドウ下部の［詳細表示へ］をクリックします。**

→ 糸リストモードの**［糸色設定］**ウィンドウが表示されます。

4 **リストから［キイロ］を面の糸色として選択します。**

図形の線の糸色と面の糸色両方を指定できます。

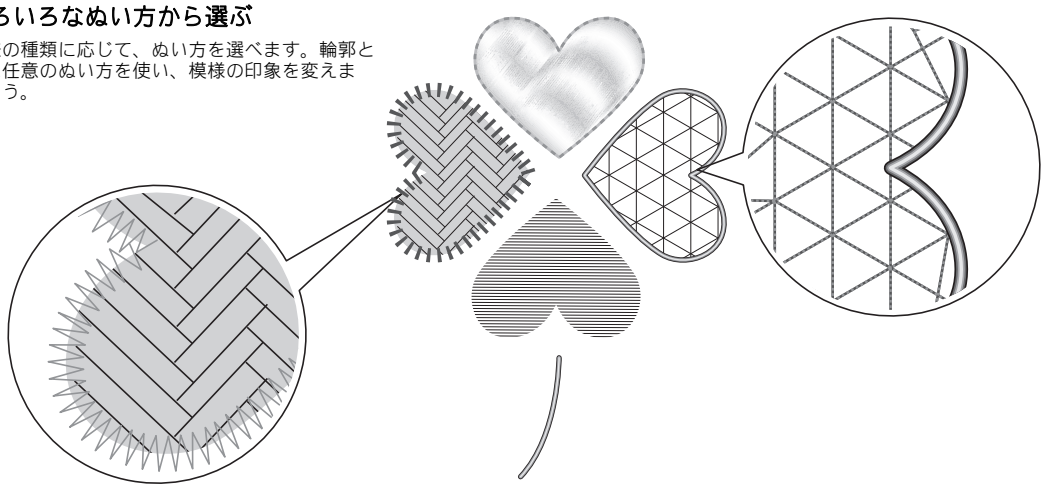
→ 模様の色がキイロに変わります。

模様のぬい方を選ぶ

20 種類以上のぬい方を模様の線と面に使い、刺しゅうデザインの表現を豊かにできます。ぬい方向やぬい密度の詳細設定を加えると、表現の幅が無限に広がります。

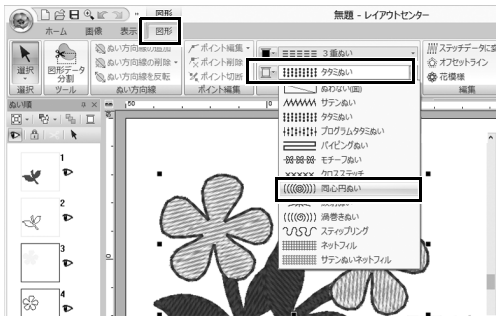
いろいろなぬい方から選ぶ

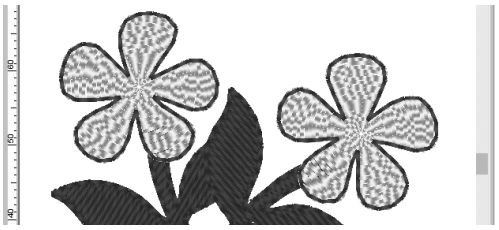
模様の種類に応じて、ぬい方を選べます。輪郭と面に任意のぬい方を使い、模様の印象を変えましょう。



練習してみましょう ⑦

ぬい方を変えましょう





1 **＜Ctrl＞キーを押しながら2つの花模様をクリックします。**

2 **［図形］タブを選択します。**

3 **［ぬい設定］グループの［面のぬい方］セレクターから［同心円ぬい］を選択します。**

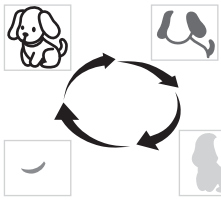
→ 図形の内部のぬい目が変わります。

模様を刺しゅうデータとして見る

ミシンで縫製すると、どのようなぬい順で、どのような仕上がりになるかなど、思い描いた作品に近づけるための最後の仕上げとして、模様を刺しゅうデータとして見てみましょう。

塗りつぶし表示　ステッチ表示　リアル表示

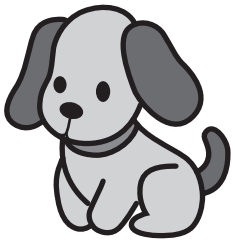
模様を 3 つの表示モードで見ることができます。ステッチの運びや繋がりを確認できる**【ステッチ表示】**や、縫製後の実際の模様に似せた**【リアル表示】**で仕上がりを確認しましょう。

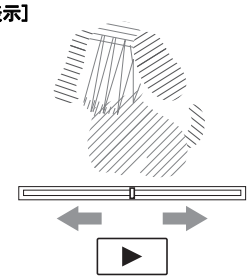


【ぬい順】ウィンドウでぬい順を表示し、ミシンでぬうときの糸の交換の回数と渡り糸の回数が少なくなるように順番を調整します。

ぬい順を最適化する

仕上がりイメージを確認する



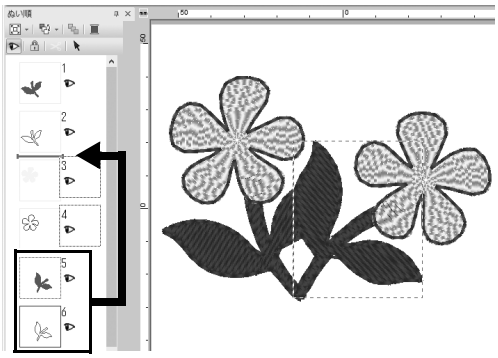


ミシンでどのようにぬわれていくか、縫製の様子を見ることができます。

シミュレーターでステッチを確認する

練習してみましょう ⑧

ぬい順を変えましょう



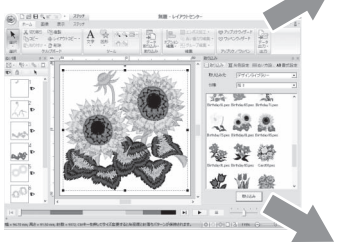
1 **＜Ctrl＞キーを押しながら、[ぬい順]ウィンドウで複製の葉っぱ模様（5 コマ目と 6 コマ目）をクリックします。**

2 **2コマ目と3コマ目の間に選択したコマをドラッグします。**

3 **画面右下の ▶ をクリックして、ぬい目のシミュレーションを開始します。**

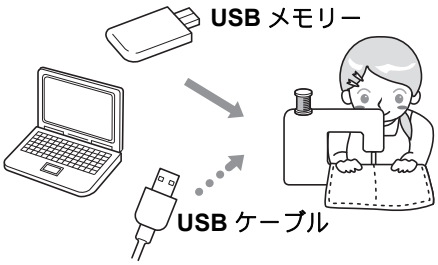
模様をぬう

刺しゅうデータの確認後は、データをミシンに転送してぬってみましょう。ミシンの使用環境に適した方法を選ぶことができます。



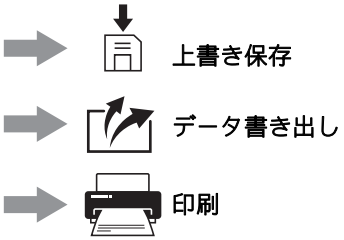
データをミシンに転送する

データの転送方法は**［ホーム］**タブのメニューから選べます。お手持ちのミシンの仕様や使用環境を考慮しながら、適した方法を選びましょう。



データを管理する

作成・編集した刺しゅう模様は、データとして保存し、いつでも呼び出すことができます。また、データはさまざまなフォーマットで出力することもできます。



練習してみましょう ⑨

USB メモリーを使ってデータをミシンに転送しましょう

1. **市販の USB メモリーをパソコンに差し込みます。**
2. **［ホーム］タブの［出力］グループで［データ出力］をクリックして、［USB メモリー］を選択し、適切なドライブをクリックします。**
   → データを USB メモリーにコピーするとメッセージが表示されます。
3. **［OK］をクリックし、USB メモリーを取り外します。**
4. **ミシンのUSBポートにUSBメモリーを差し込み、データを取り込みます。**
   ミシンへのデータ取り込みについて詳しくは、お使いのミシンの取扱説明書を参照してください。

刺しゅうデータを保存 / 開く / 印刷しましょう

1 **ウィンドウ左上の をクリックします。**
→ **［ファイル］**メニューが表示されます。

2 **メニューからご希望のコマンドを選択します。**
［最近使ったファイル］の下に、最近使ったファイルのリストが上から順に表示されます。

アプリケーションを終了する

練習してみましょう ⑩

レイアウトセンターを終了しましょう

1 **ウィンドウ左上の をクリックします。**
→ **［ファイル］**メニューが表示されます。

2 **メニューウィンドウ右下の［終了］をクリックします。**
［レイアウトセンター］ウィンドウ右上の × をクリックすることでも、アプリケーションを終了できます。

いろいろな刺しゅうデザインを作ってみよう

ここでは、本ガイドの冒頭に紹介されている作品を例にとり、デザイン性の高い刺しゅう模様を作るための機能やツール、操作について説明します。実用的な技術を身に付けて、表現の幅を広げていきましょう。

応用してみましょう ①

フラワーリース – ステッチデータを配置する –

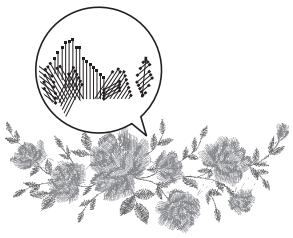
ステップ **1** 模様を取り込んで回転する

ステップ **2** 模様を複製する

ステップ **3** 模様を反転する

ステップ **4** 模様を配置する

ステッチデータについて



内蔵のステッチデータは、そのままのサイズで使う、もしくは大幅なサイズ変更をしないことをお勧めします。

ステッチデータには、どこにどんな糸色の順番で針が落ちるか（運針）の情報が含まれています。データのサイズを変えると、針落ち点は変わりませんが、ぬい目の密度は大きさに比例して高くなったり、低くなったりします。ぬい目の密度の変化によって、刺しゅう作品の仕上がり具合も変わってしまう場合があります。

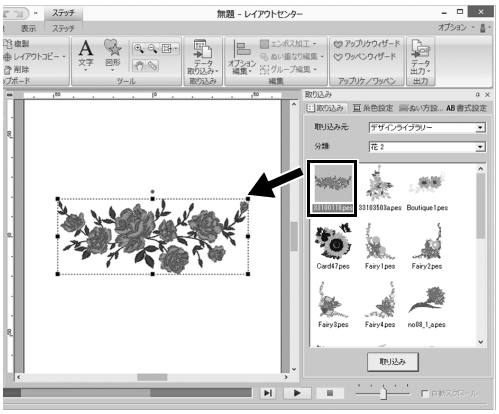
デザインページのサイズを設定しましょう

をクリックし、コマンドリストで **[デザイン設定]** を選択します。表示されたダイアログボックスで、**[デザインページ]** のサイズを「130 × 180」mm に変更します。（▶ 20 ページ）

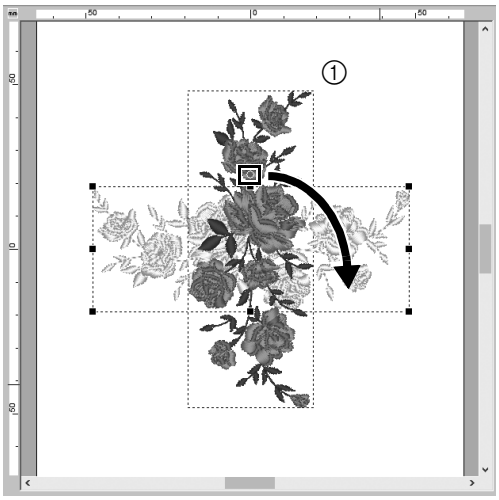
ステップ 1

模様を取り込んで回転する

1 **［取り込み］ウィンドウで、［取り込み元］セレクターから［デザインライブラリー］を選択し、［分類］セレクターから［花 2］を選択します。**



2 **ウィンドウに表示された模様のリストから［33100110.pes］を選択し、［デザインページ］にドラッグします。**

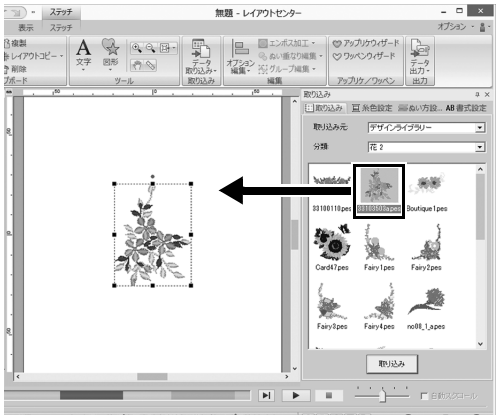


3 **＜Shift＞キーを押しながら、模様の上部の赤い点を右にドラッグして、模様を時計回りに 90 度回転します（①）。**

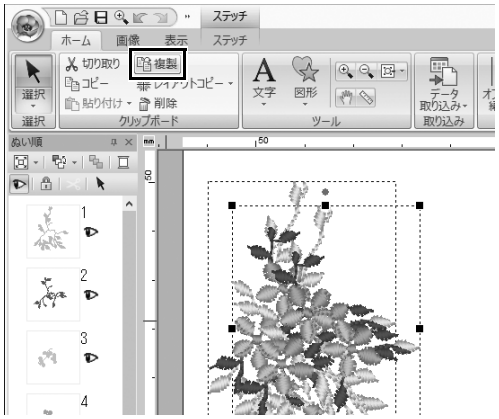
＜Shift＞キーを押しながら赤い点をドラッグすると、15 度単位で模様が回転します。

ステップ **2**

模様を複製する



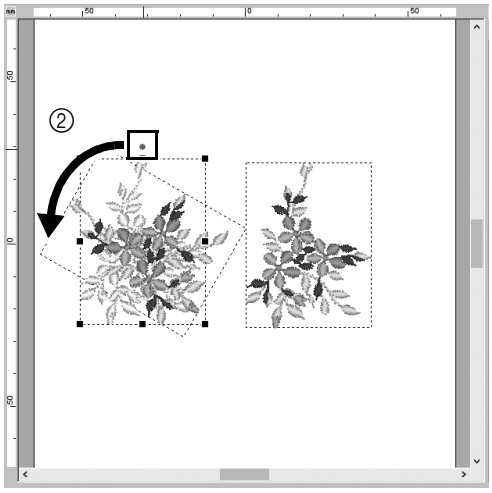
1 **ステップ 1 と同様に、［取り込み］ウィンドウの［花 2］カテゴリーから［33103503a.pes］を取り込みます。**



2 **模様を選択した後、［クリップボード］グループの［複製］をクリックして模様を複製します。**

［複製］コマンドは、選択した模様を右クリックしたときに表示されるメニューから選択することもできます。

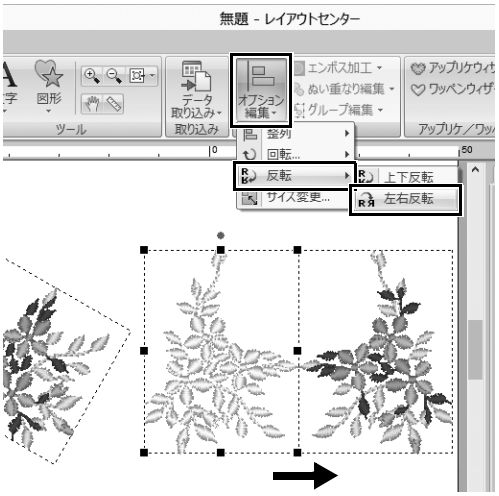
→ 元の模様の右下に複製が重ねて表示されます。



3 **元の模様を反時計回りに60度回転します（②）。**

ステップ 3

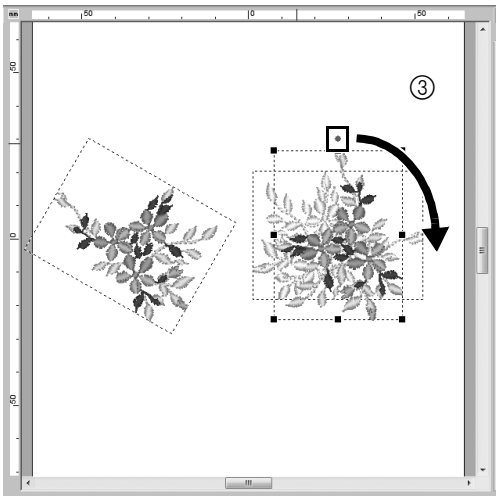
模様を反転する



1 **複製した模様を選択した後、［編集］グループの［オプション編集］をクリックして、［反転］を選択した後、［左右反転］をクリックします。**

［反転］コマンドは、選択した模様を右クリックしたときに表示されるメニューから選択することもできます。

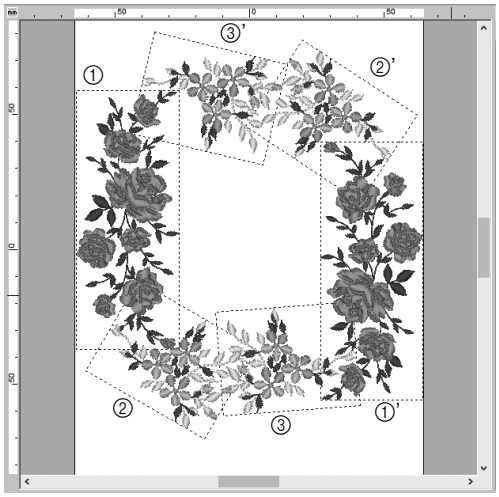
→ 選択した模様が左右反転します。

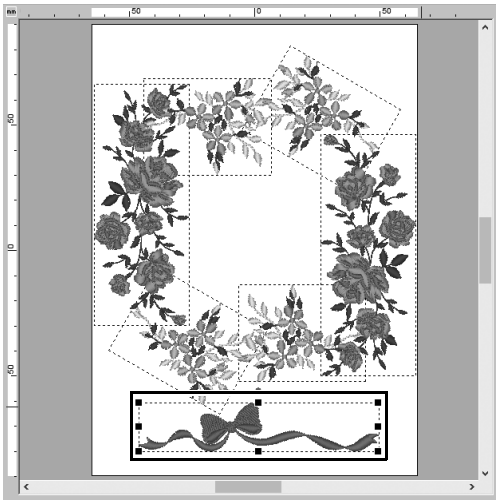


2 **反転した模様を時計回りに 90 度回転します（③）。**

ステップ 4

模様を配置する





1 **［複製］、［回転］、その他の［オプション編集］コマンドを使用して、左図のように、取り込んだ模様が円になるように配置します。**

2 **［取り込み］ウィンドウの［レースとリボン］カテゴリーで［no77_2.pes］を選択し、花模様の下にドラッグします。**

応用してみましょう ②

背番号 – 文字を組み合わせる –

ステップ 1 文字を入力する

ステップ 2 文字の色とぬい方を変える

ステップ 3 変形した文字を取り込む

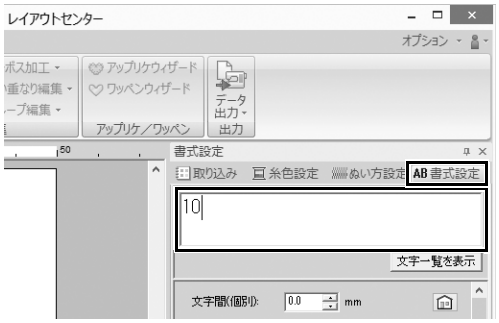
ステップ 4 配置を整える

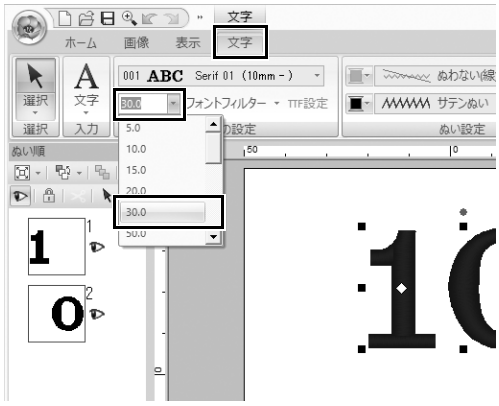
文字データについて

文字データには、134 種の内蔵フォントが使えます。文字の形状によって複数のブロックで構成されており、ぬい角度はブロックごとで異なるため、手ぬいのような立体感がでます。文字データには、線（輪郭）と面（輪郭で囲まれた内部）があり、それぞれに異なるぬい方や色を設定できます。

ステップ 1

文字を入力する





1 **［取り込み］ウィンドウで、［取り込み元］セレクターから［文字データ］を選択し、［分類］セレクターから［セリフ体］を選択します。**

2 **［TN_001.pes］（Serif 01）を選択し、［デザインページ］にドラッグします。**

3 **［書式設定］タブをクリックします。**

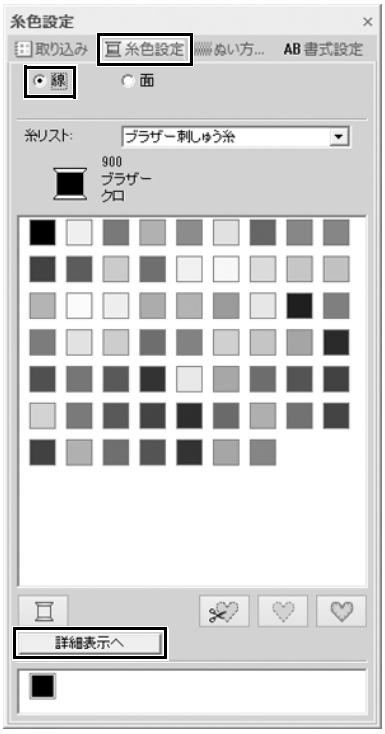
4 **文字入力領域をクリックして入力モードにした後、「TEXT」の文字を削除して、「10」と入力し、＜ Enter ＞キーを押します。**

5 **「10」の文字を選択した後、［文字］リボンタブをクリックします。**

6 **［文字の設定］グループの［文字サイズ］セレクターの右にある下向きの矢印をクリックし、リストから「30.0」を選択します。**

ステップ **2**

文字の色とぬい方を変える



1 **［ぬい設定］グループで［線のぬい方］セレクターをクリックし、リストの［サテンぬい］をクリックします。**

2 **［糸色設定］タブをクリックして［線］を選択し、ウィンドウ下部の［詳細表示へ］をクリックします。**

→ 糸リストモードの**［糸色設定］**ウィンドウが表示されます。

3 リストから［グンジョウイロ］を選択します。

4 ［糸色設定］ウィンドウで［面］を選択し、色パレットの［アカ］を選択します。

ステップ 3

変形した文字を取り込む

1 **［取り込み］**ウィンドウで、**［分類］**セレクターから［文字変形］を選択します。

2 **［TT_001.pes］**（アーチ形文字）を選択し、**［デザインページ］**にドラッグします。

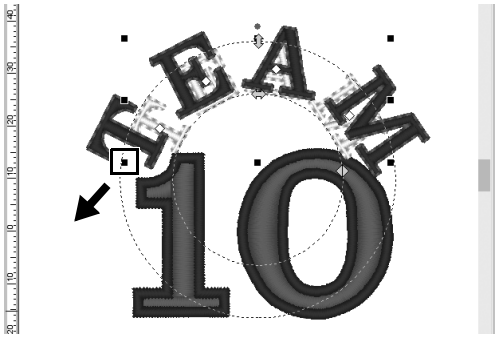
3 **［書式設定］**タブをクリックします。

4 文字入力領域をクリックして入力モードにした後、**「TEAM」**と入力しなおし、＜ **Enter** ＞キーを押します。

5 **「TEAM」**の文字を選択した後、**［文字］**リボンタブをクリックします。

6 **ステップ 2** と同様に、**［ぬい設定］**グループの**［線のぬい方］**セレクターから**［3 重ぬい］**を選択し、線の糸色は**［アカ］**を選択します。

7 面の糸色は**［グンジョウイロ］**を選択します。



8 **［選択］**ツールで**「TEAM」**の文字を選択した後、＜ **Shift** ＞キーを押しながら、模様の角の黒い点をドラッグして任意のサイズに拡大します。

9 ◇をドラッグして、文字を形成する円の丸みを調整します。

ステップ 4

配置を整える

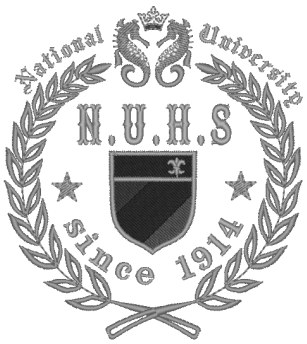
1 選択する「TEAM」と「10」の模様の周りを囲うようにして、カーソルをドラッグします。

2 ［ホーム］タブをクリックします。

3 ［編集］グループの［オプション編集］をクリックして、［整列］を選択し、［左右方向］の下の［左右中央揃え］をクリックします。

応用してみましょう ③

エンブレム – テンプレートウィザードを使う –

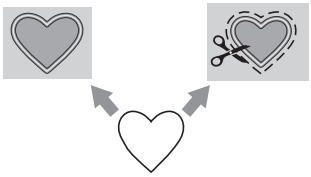


ステップ 1 ウィザードを起動する

ステップ 2 文字を編集する

ステップ 3 デザインデータを出力する

ウィザードを使いましょう



写真の取り込みやデザインテンプレートを使ったウィザードは、アプリケーションの起動後に表示されるスタートアップウィザードから、またアップリケやワッペンを作るためのウィザードは、**［レイアウトセンター］**のメイン画面の**［ホーム］**タブから起動できます。アプリケーションの指示に従って必要な情報を入力するだけで、初心者でも完成度の高い作品を作ることができます。

ステップ 1

ウィザードを起動する

1 **［取り込み］ウィンドウで、［取り込み元］セレクターから［テンプレート］を選択し、［分類］セレクターから［サンプル］を選択します。**

→ 選択されたカテゴリーのテンプレートのサムネイルが表示されます。

2 **［TP_emblem01.pes］のサムネイルを選択し、［テンプレートウィザードの起動］をクリックします。**

→ テンプレートウィザードが起動します。

ステップ **2**

文字を編集する

1 **テキストの編集ボックスで「SUMS」をクリックし、［テキスト編集］をクリックします。**

→「SUMS」の文字がハイライトされ、編集できます。

2 **キーボードを使用して「N.U.H.S」と入力し、＜ Enter ＞キーを押します。**

→ 2 行目の「since 1831」の文字がハイライトされ、編集できます。

3 **キーボードを使用して「since 1914」と入力し、＜ Enter ＞キーを押します。**

→ 新しい文字がダイアログボックスの左側のプレビューに表示されます。

4 **［次へ］をクリックします。**

→ **［出力］**ダイアログボックスが表示されます。

ステップ **3**

デザインデータを出力する

1 **［出力先］セレクターをクリックしてデータの出力先を選択し、適切なドライブの［USB メモリー］をクリックします。**

2 **［送る］をクリックします。**

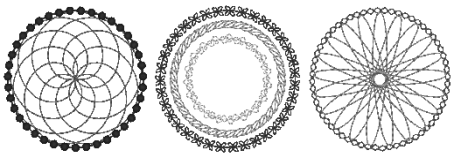
→ テンプレートデザインのデータが選択した USB メモリーにコピーされ、「**書き込みが完了しました。**」のメッセージが表示されます。

3 **［OK］をクリックします。**

データをミシンに転送して、作品をぬいます。

応用してみましょう ④

花模様 – 図形から花模様を作る –



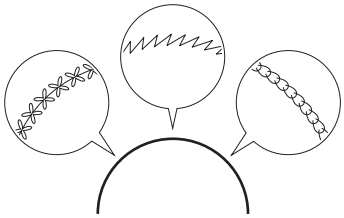
ステップ 1 円を描く

ステップ 2 花模様を描く（簡易モード）

ステップ 3 花模様を描く（詳細モード）

ステップ 4 オフセットラインを使って描く

線のぬい方について



図形データや文字データには、線（輪郭）と面（輪郭で囲まれた内部）があり、それぞれに異なるぬい方や色を設定できます。アプリケーションに内蔵されている線のぬい方に加えて、カスタマイズ可能なモチーフぬいなどを合わせれば、バリエーションが広がります。

ステップ 1

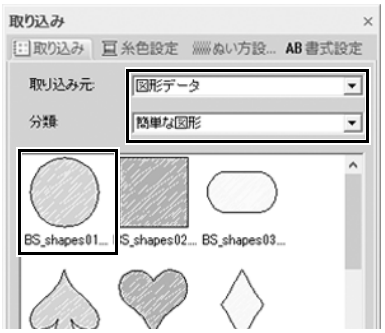
円を描く

1 **をクリックし、アプリケーションボタンメニューから［デザイン設定］を選択します。**

→ **［デザイン設定］**ダイアログボックスが表示されます。

2 **［枠サイズ］設定の下の［90 度回転］のチェックボックスを選択し、［OK］をクリックします。**

→ **［デザインページ］**の向きが横に変わります。



3 **［取り込み］ウィンドウで、［取り込み元］セレクターから［図形データ］を、［分類］セレクターから［簡単な図形］を選択し、［BS_shapes01.pes］（円図形）を取り込みます。**

4 **図形を選択し、［ホーム］タブをクリックします。**

5 **［編集］グループの［オプション編集］をクリックし、メニューの［サイズ変更］をクリックします。**

→ **［サイズ変更］**ダイアログボックスが表示されます。

6 **［幅］を「50.0」mm に設定し、［OK］をクリックします。**

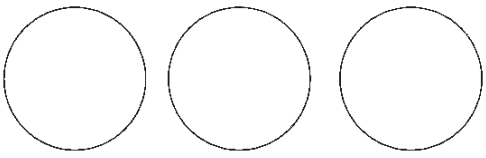
［縦横比を保持］のチェックボックスを選択すると、その図形の縦横比が維持されます。

→ 円模様の直径が50mmに設定されます。

7 **図形を選択し、［図形］タブをクリックします。**

8 **［ぬい設定］グループで［面のぬい方］セレクターをクリックし、リストの［ぬわない（面）］をクリックします。**

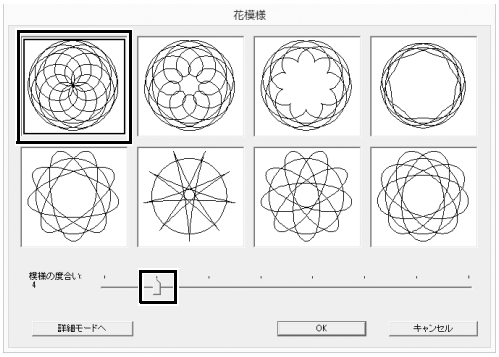
→ 面のぬいがオフになり、円の輪郭線のみ表示されます。



9 **円模様の複製を 2 つ作成し、3 つの円模様をすべて一列に並べます。**

ステップ 2

花模様を描く（簡易モード）



1 **ステップ 1 で作成した左端の円模様を選択し、［図形］タブをクリックします。**

2 **［編集］グループの［花模様］をクリックします。**
→ **［花模様］**（簡易モード）ダイアログボックスが表示されます。

3 **左上のパターンをクリックして、スライダーをドラッグし、［模様の度合い］を「4」に設定し、［OK］をクリックします。**
→ 指定した設定で花模様が作成されます。

4 **元の左端の円模様を選択した後、［図形］タブをクリックします。**

5 **［ぬい設定］グループで［線のぬい方］セレクターをクリックし、リストの［キャンドルウィックステッチ］をクリックします。**
→ 選択したぬい方が、円模様の輪郭に適用されます。

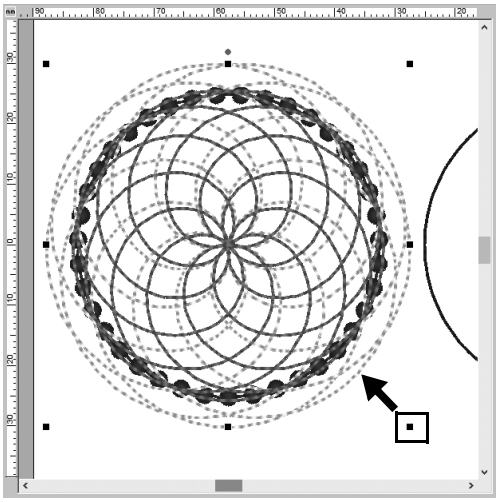
6 **［糸色設定］タブをクリックし、ウィンドウを糸リストモードに切り替えます。**

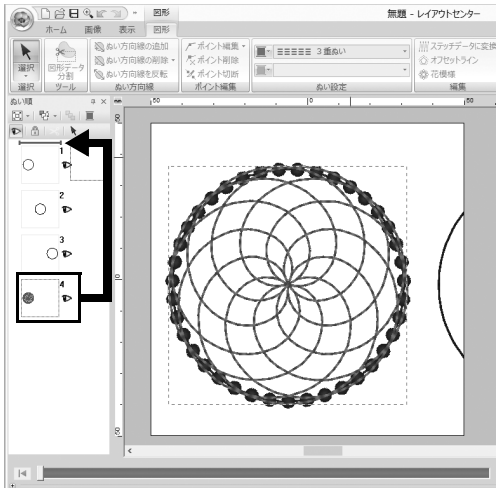
7 **リストから［グンジョウイロ］を選択します。**

8 **［ぬい方設定］タブをクリックし、ウィンドウ下部の［詳細モードへ］をクリックします。**

9 **以下の設定を指定します。**

糸密度	普通
大きさ	3.0mm
間隔	1.0mm
ぬい始終点のタイプ	渡り





10 花模様を選択した後、＜Shift＞キーを押しながら模様の角の黒い点をドラッグして、花模様が円の輪郭に合うようにサイズを縮小します。

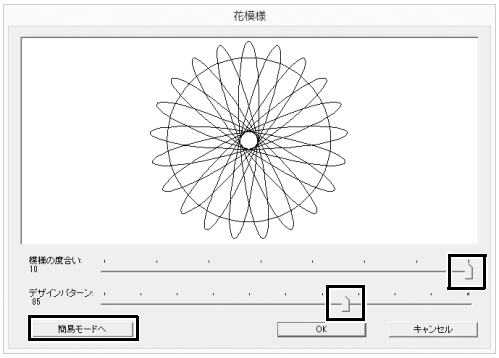
11 花模様を選択した後、手順 **4** ～ **9** を参考にして線のぬい方、線の糸色、以下のぬい設定を指定します。

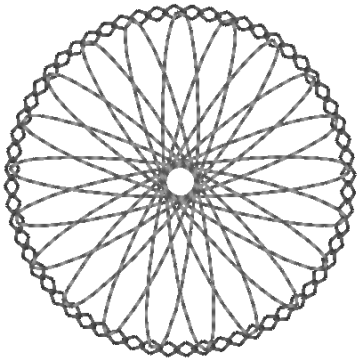
線のぬい方	3重ぬい
線の糸色	ソライロ
走りピッチ	2.0mm

12 **［ぬい順］**ウィンドウで、4コマ目（花模様）を上部（円の輪郭の上）にドラッグします。

ステップ 3

花模様を描く（詳細モード）





1 **ステップ 1** で作成した右端の円模様を選択し、**［図形］**タブの**［花模様］**をクリックします。

2 ダイアログボックスの左下にある**［詳細モードへ］**をクリックして詳細モードに切り替えます。

3 スライダーをドラッグして**［模様の度合い］**を**「10」**に、**［デザインパターン］**を**「85」**に設定し、**［OK］**をクリックします。

4 元の右端の円模様を選択し、**［線のぬい方］**を**［チェーンステッチ］**に設定します。

5 **［糸色設定］**タブをクリックし、糸色リストで［シュイロ］をクリックします。

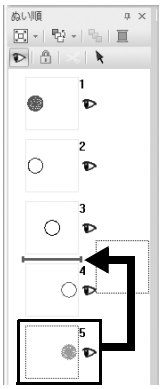
6 **［ぬい方設定］**タブをクリックし、以下の設定を指定します。

ぬいのタイプ	<>
大きさ	3.5mm
ぬいの回数	5 回
チェーンの向き	◁
ぬい始終点のタイプ	渡り

7 花模様を選択し、花模様が円の輪郭に合うように縮小します。

8 花模様を選択した後、**ステップ 2** の手順 **4** ～ **6** を参考にして線のぬい方、線の糸色、以下のぬい設定を指定します。

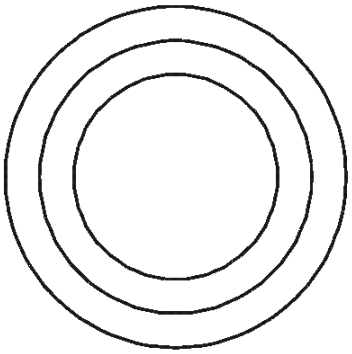
線のぬい方	3 重ぬい
線の糸色	マンダリン
走りピッチ	2.0mm



9 **［ぬい順］ウィンドウで、5 コマ目（花模様）を 3 コマ目と 4 コマ目の間にドラッグします。**

ステップ 4

オフセットラインを使って描く



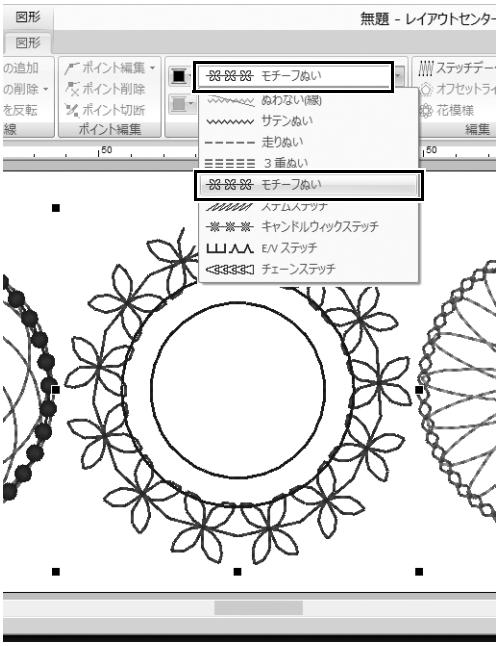
1 **ステップ 1 で作成した中央の円模様を選択し、［図形］タブをクリックします。**

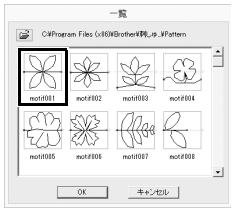
2 **［編集］グループの［オフセットライン］をクリックします。**

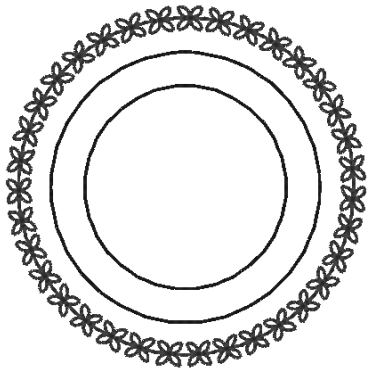
→ **［オフセットライン設定］**ダイアログボックスが表示されます。

3 **ダイアログボックスで［オフセットラインの位置］を［内側］に、［間隔］を「5.0」mm に、［オフセットライン数］を「2」に設定し、［OK］をクリックします。**

→ 2つの同心円が5mm間隔で円模様の内側に作成されます。







4 一番外側の円模様を選択します。

5 ［図形］タブをクリックします。

6 ［ぬい設定］グループの［線のぬい方］セレクターから［モチーフぬい］を選択します。

7 ［糸色設定］タブをクリックし、糸色リストの［モスグリーン］をクリックします。

8 ［ぬい方設定］タブをクリックし、

を選択します。

→ ダイアログボックスが表示されます。

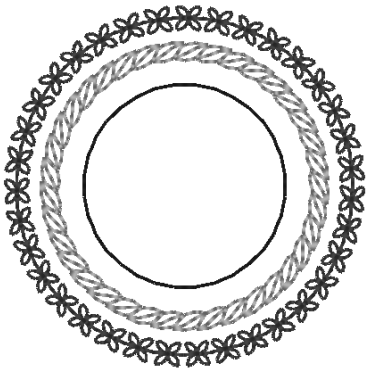
9 ［一覧］ダイアログボックスのサムネイルから任意のモチーフぬいのパターンを選択し、［OK］をクリックします。

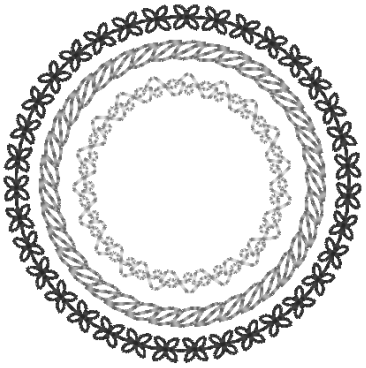
この例では、［motif001］を選択します。

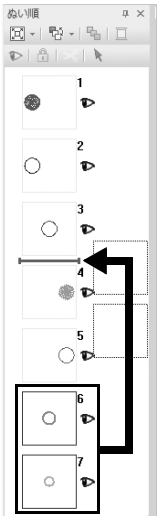
10 モチーフのパターンに以下の設定を指定します。

モチーフの高さ	4.0mm
モチーフの幅	5.0mm
アレンジ 1	
アレンジ 2	
オフセット	0.0mm
スペース	-0.5mm
走りピッチ	5.0mm
ぬい始終点のタイプ	渡り

11 手順5～10を参考にして、内側の2つの円模様にも、モチーフのパターンを設定します。







■ 外側から 2 番目の円模様

線の糸色	トキワイロ
モチーフパターン	motif011
モチーフの高さ	5.0mm
モチーフの幅	5.0mm
アレンジ 1	
アレンジ 2	
オフセット	0.0mm
スペース	0.0mm
走りピッチ	5.0mm
ぬい始終点のタイプ	渡り

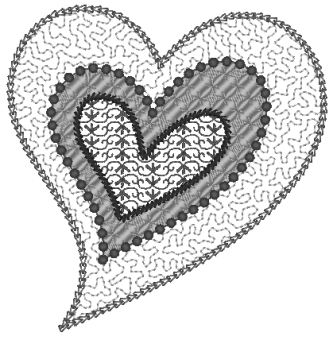
■ 一番内側の円模様

線の糸色	エメラルドグリーン
モチーフパターン	motif010
モチーフの高さ	6.0mm
モチーフの幅	6.0mm
アレンジ 1	
アレンジ 2	
オフセット	0.0mm
スペース	-1.0mm
走りピッチ	4.5mm
ぬい始終点のタイプ	渡り

12 **［ぬい順］ウィンドウで、6 コマ目と 7 コマ目（内側の円模様）を 3 コマ目と 4 コマ目の間にドラッグします。**

応用してみましょう ⑤

ハート模様 – 図形の輪郭ごとにぬい目を変える –



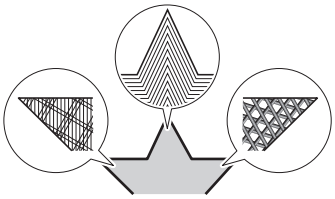
ステップ 1 図形データを取り込む

ステップ 2 ぬいのパターンを図形に適用する

ステップ 3 プログラムタタミぬいを図形に適用する

ステップ 4 モチーフぬいを図形に適用する

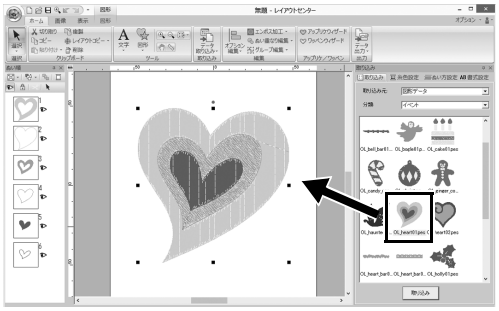
面のぬい方について



閉じた輪郭を持つ図形や文字のデータは、輪郭で囲まれた内部のぬい方を指定できます。リストからお好みのぬい方を選ぶだけで、デザインを華やかにもシンプルにもできます。アプリケーションには、**［ステッチクリエイター］**を使ってカスタマイズできるパターンやモチーフぬいが含まれます。

ステップ 1

図形データを取り込む

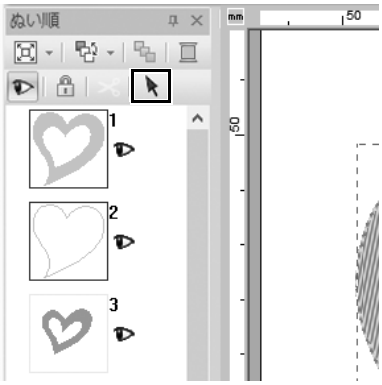


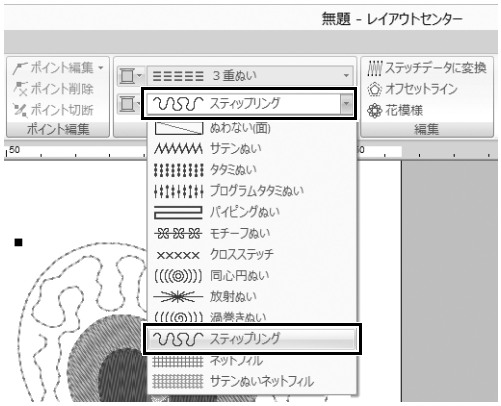
1 **［取り込み］ウィンドウでは、［取り込み元］セレクターから［図形データ］を選択し、［分類］セレクターから［イベント］を選択します。**

2 **［OL_heart01.pes］を選択し、［デザインページ］にドラッグします。**

ステップ **2**

ぬいのパターンを図形に適用する





1 ＜Ctrl＞キーを押しながら、［ぬい順］ウィンドウの一番大きいハート模様の線（2 コマ目）と面（1 コマ目）をクリックします。

2 ［ぬい順］ウィンドウ上部の をクリックします。

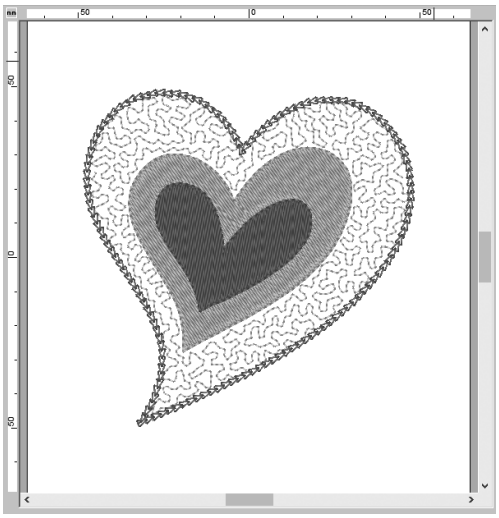
3 ［図形］リボンタブをクリックします。

4 ［ぬい設定］グループで［面のぬい方］セレクターをクリックし、リストの［スティップリング］を選択します。

5 ［ぬい設定］グループで［線のぬい方］セレクターをクリックし、リストの［チェーンステッチ］を選択します。

6 ［糸色設定］タブをクリックし、ウィンドウを糸リストモードに切り替えます。

7 ［線］を選択し、リストの［ソライロ］をクリックします。



8 **［ぬい方設定］タブをクリックします。**
ウィンドウを詳細モードに切り替え、以下の設定を指定します。

■ 線のぬい方

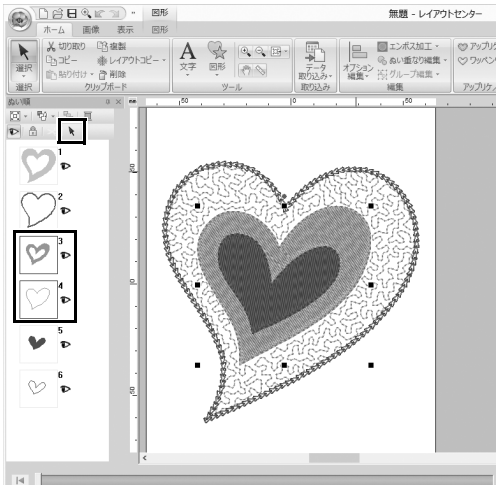
ぬいのタイプ	◁
大きさ	3.0mm
ぬいの回数	5 回
チェーンの向き	◁
ぬい始終点のタイプ	渡り

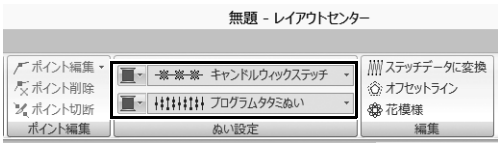
■ 面のぬい方

走りピッチ	1.8mm
スペース	2.0mm
モチーフぬい	オフ

ステップ **3**

プログラムタタミぬいを図形に適用する

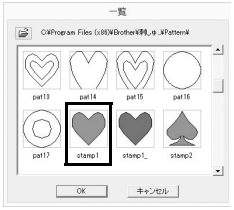


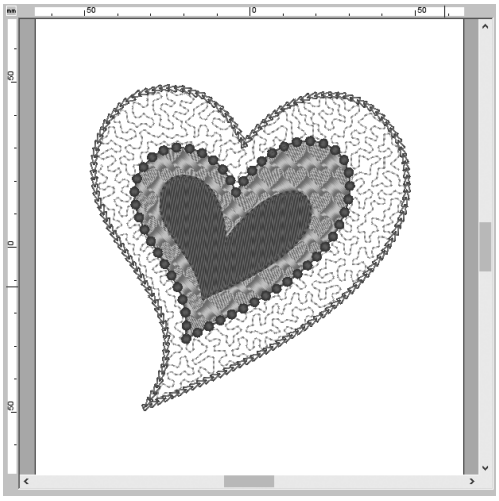


1 **2 番目に大きいハート模様（3 コマ目と 4 コマ目）を［ぬい順］ウィンドウで選択します。**

2 **以下の通り、各図形の色とぬい方を設定します。**

線のぬい方	キャンドル ウィック ステッチ
線の糸色	アオムラサキ
面のぬい方	プログラム タタミぬい





3 **［ぬい方設定］タブをクリックし、以下の設定を指定します。**

■ 線のぬい方

糸密度	普通
大きさ	3.0mm
間隔	1.0mm
ぬい始終点のタイプ	渡り

■ 面のぬい方

下打ち	、標準
糸密度	4.5 本 /mm
ぬい角度	手動、 135 度
内部走り経路	
縮み補正	0.0mm

プログラムタタミ

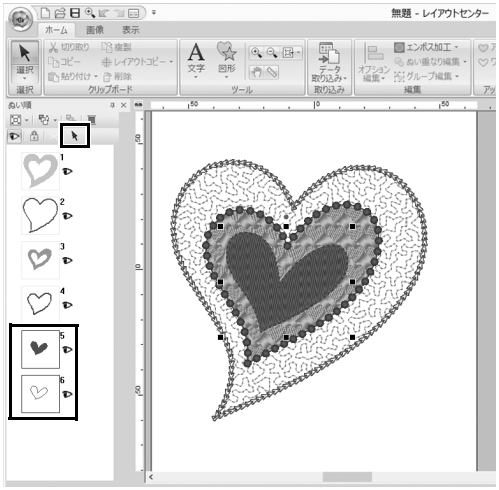
をクリックして、［一覧］ダイアログボックスで任意のパターンを選択し、［OK］をクリックします。

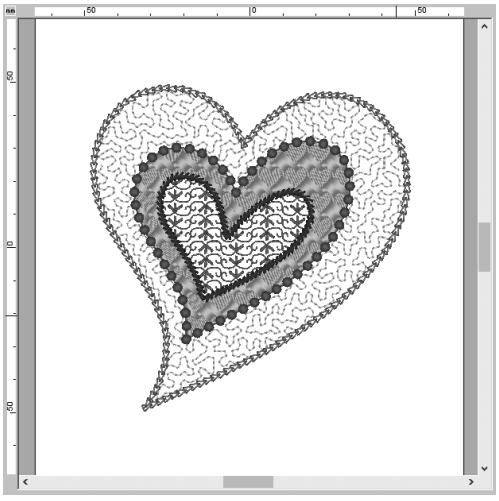
この例では、［stamp1］を選択します。

タタミぬいパターン	stamp1
パターンの高さ	7.5mm
パターンの幅	7.5mm
角度	0 度
オフセット	横、0%

ステップ 4

モチーフぬいを図形に適用する





1 一番小さいハート模様（5 コマ目と 6 コマ目）を［ぬい順］ウィンドウで選択します。

2 ［図形］タブをクリックします。

線のぬい方	ステムステッチ
線の糸色	ムラサキ
面のぬい方	モチーフぬい

3 ［ぬい方設定］タブをクリックし、以下の設定を指定します。

■ 線のぬい方

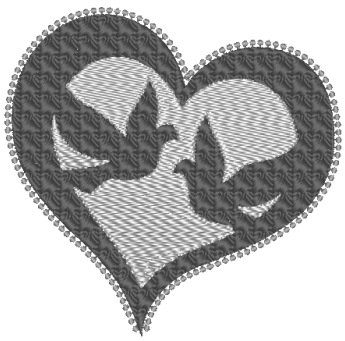
幅	2.0mm
間隔	1.5mm
角度	45 度
ぬいのタイプ	（3 重ぬい）
ぬい始終点のタイプ	渡り

■ 面のぬい方

モチーフパターン	motif074
モチーフ	パターン 1 のみ
モチーフの高さ	10.0mm
モチーフの幅	9.5mm
アレンジ 1	
アレンジ 2	
オフセット横	0.0mm
オフセット縦	1.0mm
スペース横	0.0mm
スペース縦	-6.0mm

応用してみましょう ⑥

ハトとハート – ベクトル画像にグラデーションを付ける –



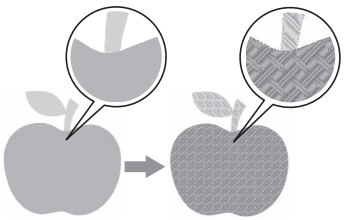
ステップ 1 ベクトル画像（SVG ファイル）を取り込む

ステップ 2 非表示のデータを表示する

ステップ 3 外側のハートの図形を飾る

ステップ 4 グラデーションを付ける

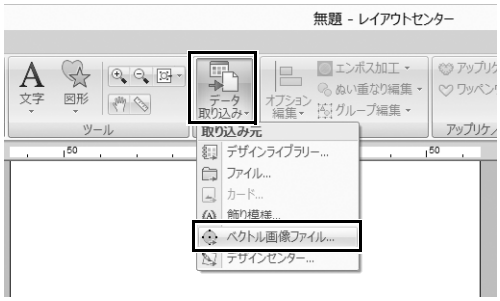
画像から刺しゅうデータを作りましょう



刺しゅうデータは、写真やイラストなどの画像から作成できます。WMF、EMF、および SVG 画像ファイルを刺しゅうデータに変換するには、［**ベクトル画像ファイル変換**］コマンドを使用します。また、いろいろな［**ステッチウィザード**］機能を使用して、BMP、JPG、および PNG 画像ファイルから刺しゅうデータを作成することもできます。

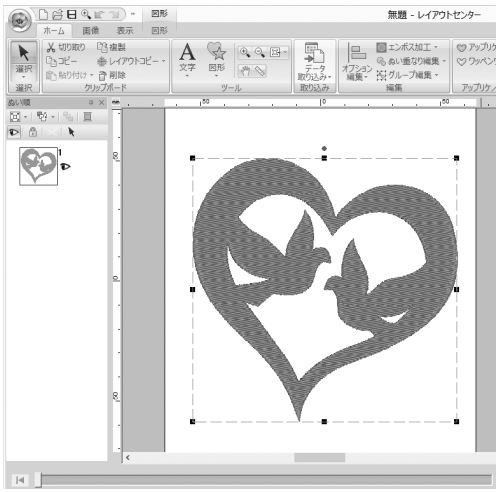
ステップ 1

ベクトル画像（SVG ファイル）を取り込む



1 **［ホーム］タブをクリックします。**

2 **［取り込み］グループの［データ取り込み］をクリックし、メニューの［ベクトル画像ファイル］を選択します。**
→ **［ベクトル画像ファイルを開く］**ダイアログボックスが表示されます。

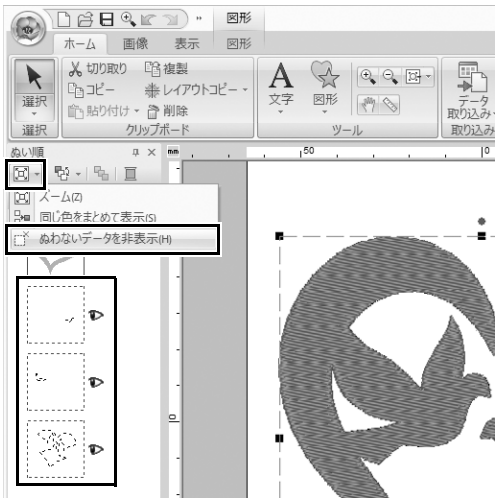


3 **取り込むファイルを選択し、［開く］をクリックします。**
この例では、**［svg_heart.svg］**を取り込みます。

→ 画像が図形データとして**［デザインページ］**に表示されます。

ステップ **2**

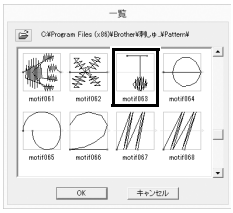
非表示のデータを表示する

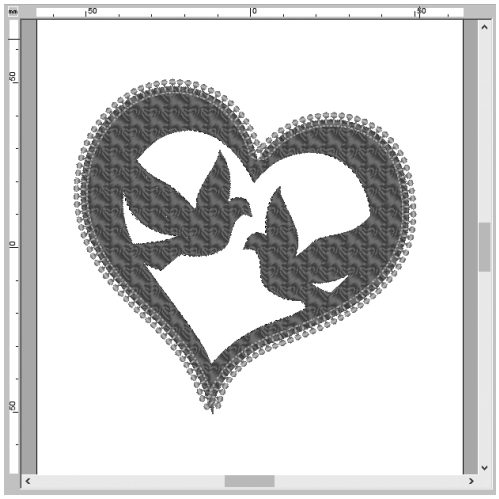


1 **［ぬい順］ウィンドウ上部のツールバーで** **をクリックした後、メニューの［ぬわないデータを非表示］をクリックします。**
→ ぬわない非表示のデータがウィンドウに表示されます。

ステップ 3

外側のハートの図形を飾る





1 ハートの図形の色が付いた範囲を選択し、［図形］タブをクリックします。

2 以下の通り、各図形の色とぬい方を指定します。

線のぬい方	モチーフぬい
線の糸色	サーモンピンク
面のぬい方	プログラム タタミぬい
面の糸色	コイピンク

3 ［ぬい方設定］タブをクリックします。ウィンドウを詳細モードに切り替え、以下の設定を指定します。

■ 線のぬい方

モチーフパターン	motif063
モチーフの高さ	4.5mm
モチーフの幅	4.5mm
アレンジ 1	
アレンジ 2	
オフセット	0.0mm
スペース	0.0mm
走りピッチ	5.0mm
ぬい始終点のタイプ	渡り

■ 面のぬい方

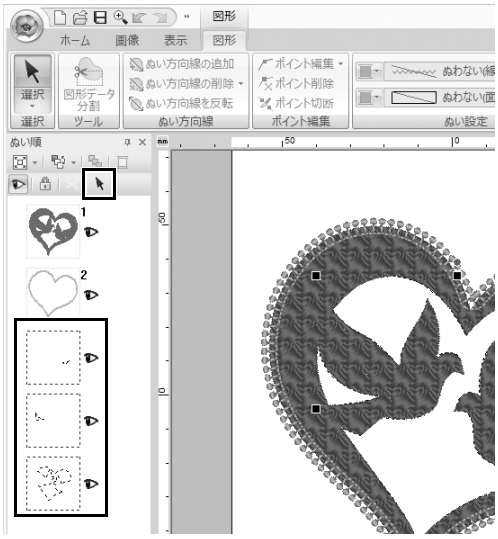
下打ち	、標準
糸密度	4.8 本 /mm
ぬい角度	手動、45 度
内部走り経路	
縮み補正	0.0mm

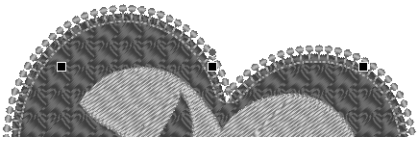
プログラムタタミ

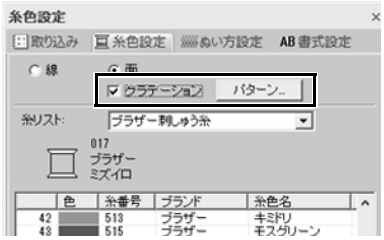
パターン	pat13
パターンの高さ	6.0mm
パターンの幅	6.0mm
角度	0 度
オフセット	横、0%

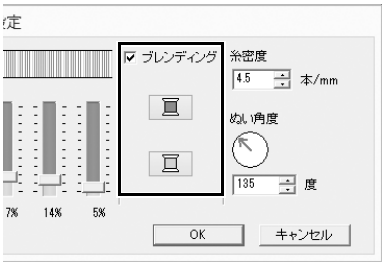
ステップ 4

グラデーションを付ける









1 カーソルを［ぬい順］ウィンドウに移動し、内部の模様をすべて囲うようにドラッグして選択した後、ウィンドウ上部の をクリックします。

2 以下の通り、各図形の色とぬい方を指定します。

面のぬい方	タタミぬい
面の糸色	ミズイロ

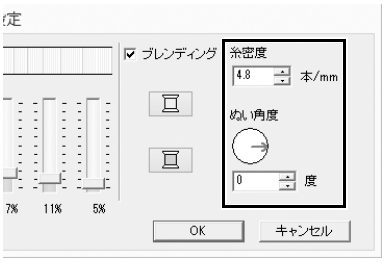
3 ［グラデーション］チェックボックスを選択し、［パターン］をクリックします。

→ **［グラデーションパターンの設定］**ダイアログボックスが表示されます。

4 ダイアログの右側の［ブレンディング］チェックボックスを選択し、 （上部）をクリックします。

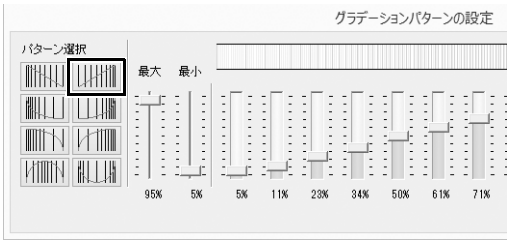
→ 糸色リストが表示されます。

5 **2 色のグラデーションで使う色を選択し、［OK］をクリックします。**
この例では、**［シロ］**を選択します。

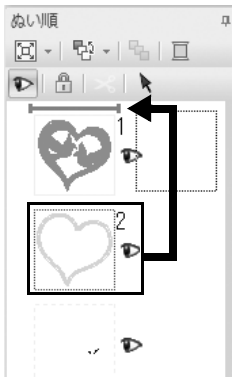


6 **［グラデーションパターンの設定］ダイアログボックスの右側の設定で、以下を指定します。**

糸密度	4.8 本 /mm
ぬい角度	0 度



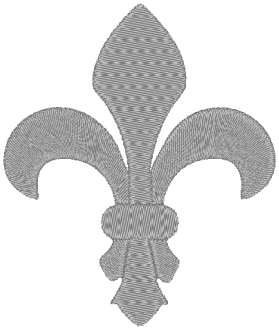
7 **グラデーションパターンの を選択し、［OK］をクリックします。**



8 **［ぬい順］ウィンドウで、2 コマ目（ハートの図形の輪郭）を上部（外側のハートの図形の上）にドラッグします。**

応用してみましょう ⑦

シンボル – 分割した図形にぬい方向を指定する –



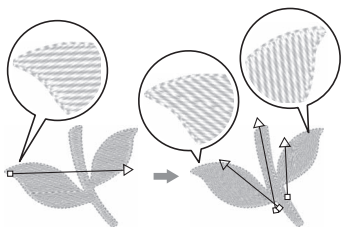
ステップ 1　模様を分割する

ステップ 2　ぬい方向を設定する

ステップ 3　ぬい順を最適化する

ステップ 4　模様のパーツをグループ化する

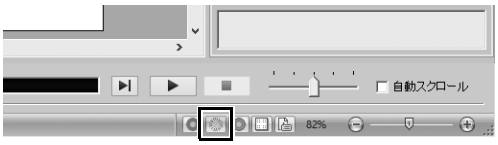
ぬい方向を変えましょう



［図形］ツールで閉じた面を作成すると、ぬい方向線（赤い矢印）が表示され、同一のぬい方向が面全体に適用されます。方向線は端点を動かして編集できたり、新しいぬい方向線を追加することもできます。ドラッグしながら直感的に方向を設定できるので、模様の形状に合わせていろいろな方向を試し、最適なぬい方向を見つけましょう。

ステップ 1

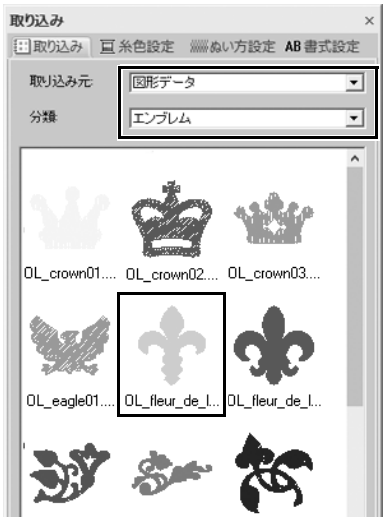
模様を分割する



1 **画面右下の をクリックして、［ステッチ表示］モードに切り替えます。**

2 **［表示］タブをクリックし、［表示または非表示］グループの［リファレンスウィンドウ］チェックボックスを選択します。**

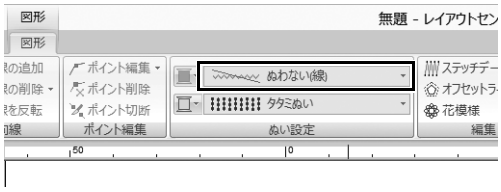
→ **［リファレンスウィンドウ］**が表示されます。



3 **［取り込み］ウィンドウで、［取り込み元］セレクターから［図形データ］を選択し、［分類］セレクターから［エンブレム］を選択します。**

4 **［OL_fleur_de_lys01.pes］を選択し、［デザインページ］にドラッグします。**

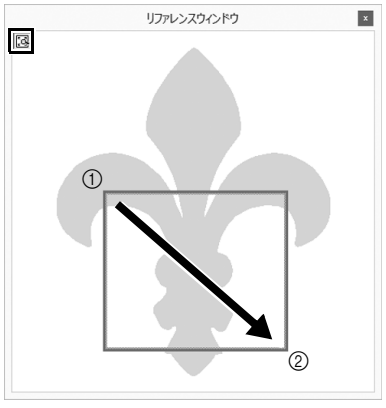
→ 必要に応じて、模様を編集しやすいサイズに拡大または縮小します。



5 **［ホーム］タブをクリックし、［選択］ツールを使用して模様を選択し、［図形］タブをクリックします。**

6 **［ぬい設定］グループの［線のぬい方］セレクターをクリックし、リストの［ぬわない（線）］をクリックします。**

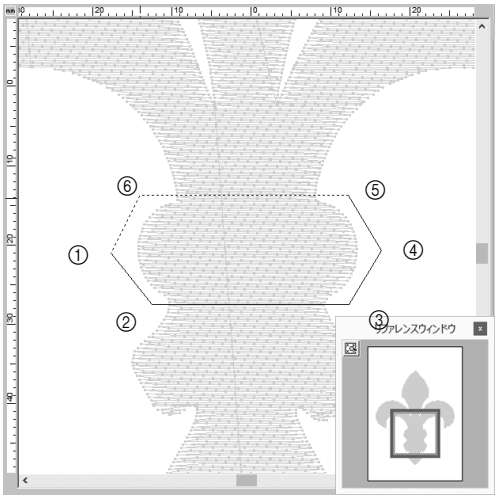
→ 輪郭が削除されます。



7 **［リファレンスウィンドウ］のをクリックします。**

8 **ウィンドウで、ズームしたい部分を表示範囲枠で囲うようにして、カーソルをドラッグします。**

→ 選択した表示範囲が、**［デザインページ］**で拡大されます。



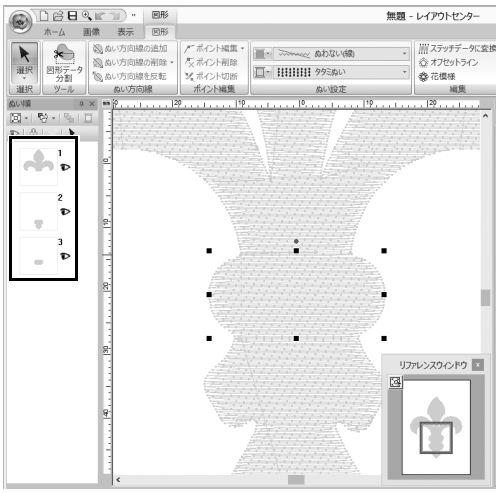
9 **模様を選択し、［図形］タブの［ツール］グループで［図形データ分割］をクリックします。**

→ 分割を指定するモードになります。このモードでは、模様の一部を多角形で囲って分割できます。

10 **［デザインページ］をクリックして、分割する模様の範囲を囲う多角形を作成します。**

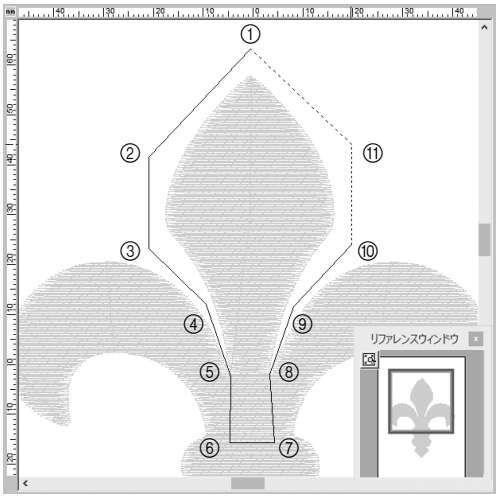
多角形は、最初にクリックした点を開始点、以降にクリックした点を頂点として表示されます。この例では、模様の中央部を多角形で囲って分割します。

- 多角形に交差している線がある場合、模様の一部が分割できず、エラーメッセージが表示されます。
- クリックした点をキャンセルするには、右クリックします。
- 模様を拡大して表示すると、分割する範囲をより正確に選択できます。

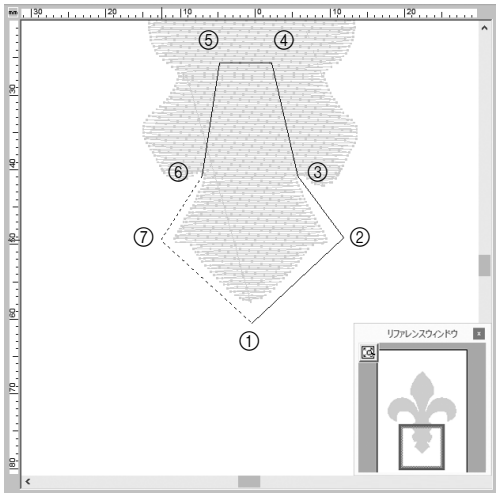


11 **多角形の最後の頂点（⑥）をダブルクリックして、表示された多角形を分割する範囲として確定します。**

→ 1 つの図形が 3 つのパーツに分割され、**［ぬい順］**ウィンドウに表示されます。



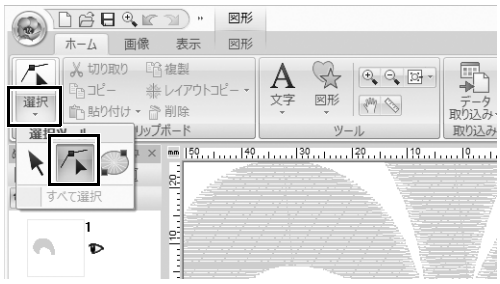
12 3 つの模様のパーツから上部を選択した後、手順 **8** ～ **11** を参考にして中央部を分割します。



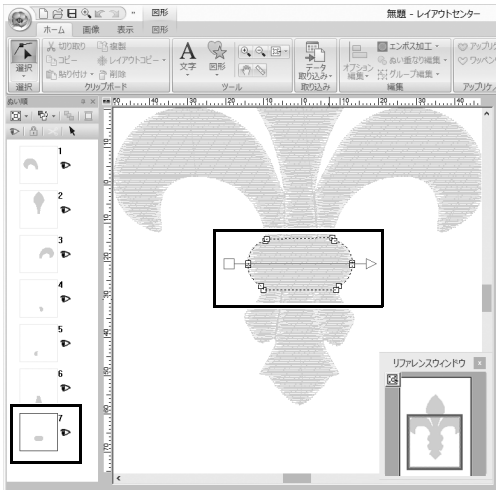
13 5 つの模様のパーツから下部を選択した後、手順 **8** ～ **11** を参考にして中央部を分割します。

ステップ **2**

ぬい方向を設定する

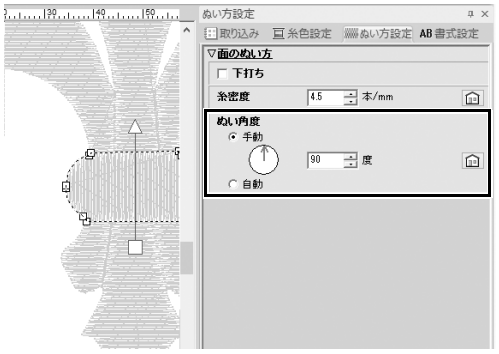


1 **[選択]** グループの **[選択]** をクリックし、（ポイントの選択）をクリックします。

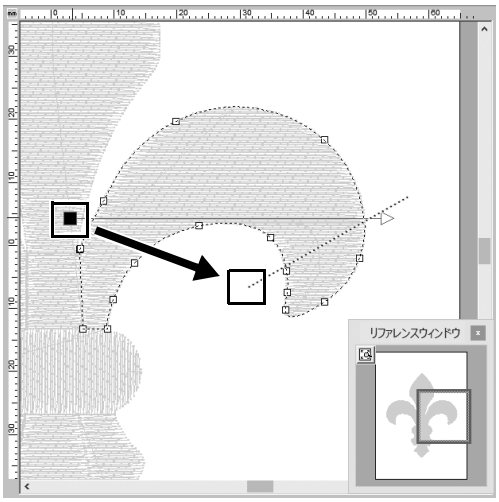


2 **最初に分割した模様の中央部を選択します。**

→ 選択した模様が図形編集モードで表示され、図形を形成する点とぬい方向線（矢印）が表示されます。



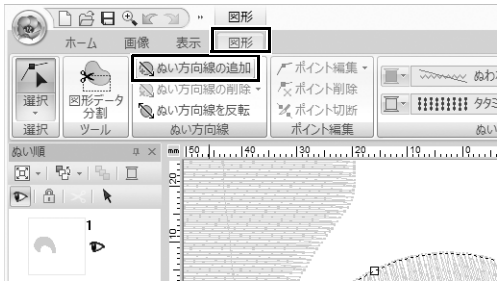
3 **［ぬい方設定］タブをクリックします。［ぬい角度］の下の［手動］を選択し、入力ボックスに「90」と入力して、ぬい角度を設定します。**



4 **を使用して、模様の右上部分を選択します。**

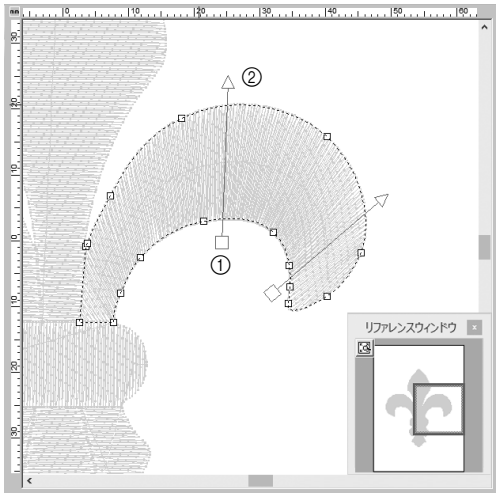
5 **方向線（矢印）の端点（赤い四角）をドラッグして、模様のパーツの右側のぬい方向を指定します。**

ぬい方向は、ぬい方向線の終端から先端まで指定されます。



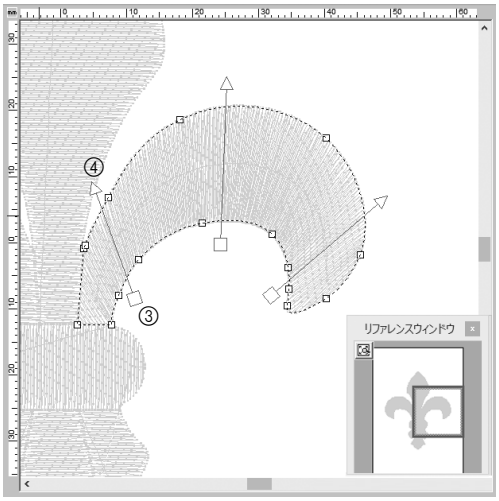
6 **［図形］タブをクリックし、［ぬい方向線］グループの［ぬい方向線の追加］をクリックします。**

ぬい方向を指定する方向線（矢印）を追加できます。

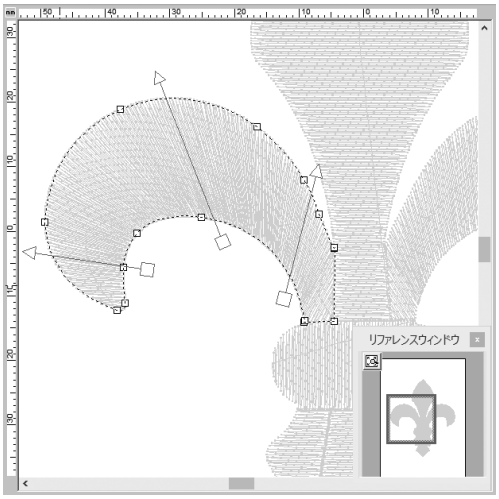


7 **選択範囲の下側をクリックして、模様のパーツを横切るよう中央に向かってカーソルを移動し、上側で再度クリックします。**

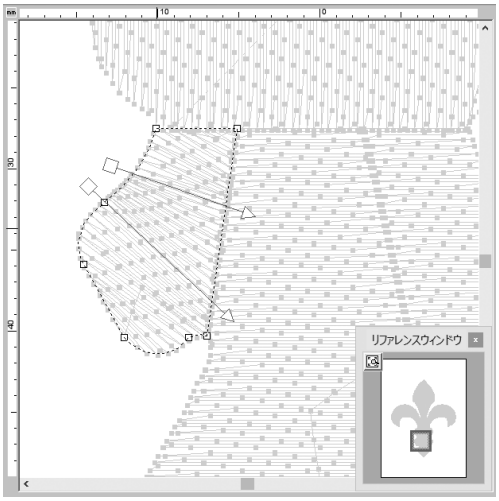
→ 2 本目の方向線がクリックした 2 つの点の間に表示されます。



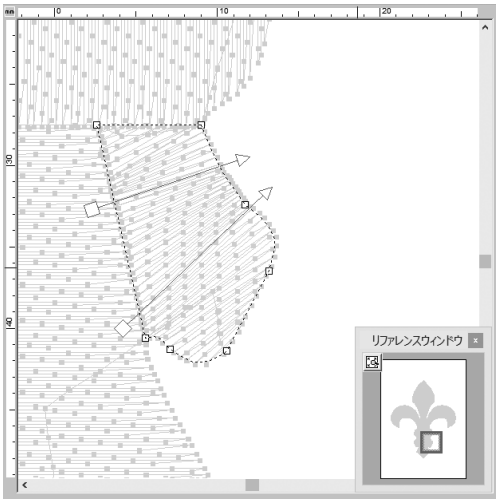
8 **手順 7 を参考にして、方向線を追加します。**



9 手順 **4** ～ **8** を参考にして、模様の左上のぬい方向を指定します。



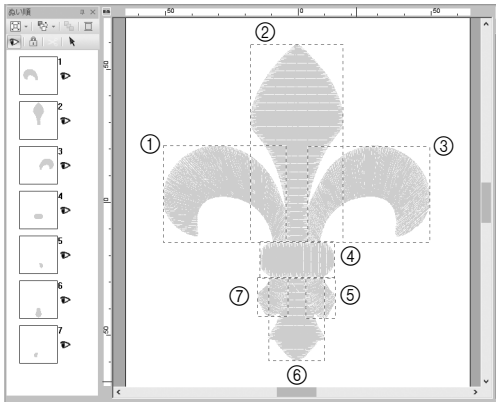
10 手順 **4** ～ **8** を参考にして、模様の左下のぬい方向を指定します。

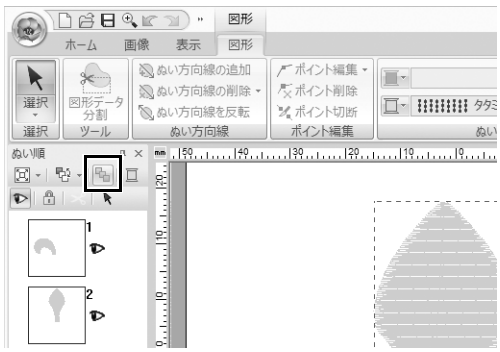


11 手順 **4** ～ **8** を参考にして、模様の右下のぬい方向を指定します。

ステップ 3

ぬい順を最適化する





1 **［ぬい順］ウィンドウで、コマを任意の位置にドラッグしてぬい順を変更します。**

この例では、左図のように順序を変更します。

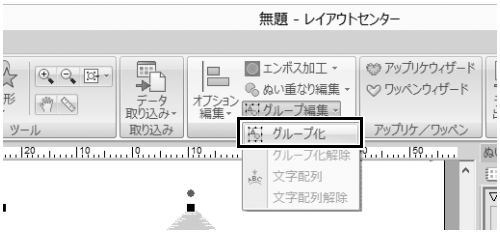
2 **［ぬい順］ウィンドウで、すべての模様のパーツの周りを囲うようにしてカーソルをドラッグし、すべてのコマを選択します。**

3 **［ぬい順］ウィンドウ上部の をクリックして、自動的にぬい順を最適化します。**

［ステッチ表示］モードの**［デザインページ］**で模様を表示してぬい目を確認するか、**［ステッチシミュレーター］**でぬい目をプレビューして、最も効率的なぬい順を見つけます。

ステップ 4

模様のパーツをグループ化する



1 **を選択し、［デザインページ］で選択する模様全体の周りを囲うようにして、カーソルをドラッグします。**

2 **［編集］グループの［グループ編集］をクリックし、メニューの［グループ化］をクリックします。**

複数の模様をグループ化すると、一度の操作で同時に拡大／縮小または回転できます。

アフターサービス

●お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は大切に保管してください。
●アフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または下記の「お客様相談室（ミシン119番）」へお問い合わせください。

お客様相談室（ミシン119番）

本製品についての、使い方やアフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または「お客様相談室（ミシン119番）」までお問い合わせください。

〒467-8577 愛知県名古屋市瑞穂区苗代町15-1
お客様相談室（ミシン119番）
TEL：050-3786-1134
050（ゼロ ゴー ゼロ）で始まる電話番号です。
FAX：052 - 824 - 3031
受付時間：月曜日～金曜日 9：00～17：30
（土曜日、日曜日、祝日、ブラザー販売株式会社の休日を除く）

●お客様相談室は、ブラザー販売株式会社が運営しています。
●ブラザー製品についてのご意見、ご要望は、お買い上げの販売店、または上記「お客様相談室（ミシン119番）」にご連絡ください。
●上記の電話番号、住所および受付時間は、都合により変更する場合がございますのでご了承ください。

ホームページ

ブラザーのホームページでは、製品に関する様々な情報を掲載しております。
http://www.brother.co.jp/
ブラザーソリューションセンターでは、製品に関するサポート情報を掲載しております。
http://support.brother.co.jp/

ブラザー工業株式会社
愛知県名古屋市瑞穂区苗代町15-1 〒467-8561

Printed in Taiwan
XG3138-001